

---

# 令和7年度筑西市男女共同参画に 関する小中学生意識調査 結果報告書

---

- |              |
|--------------|
| I 調査の概要      |
| 1 調査の概要      |
| 2 アンケート調査項目  |
| 3 調査結果のまとめ   |
| II 調査結果      |
| 1 小学生アンケート結果 |
| 2 中学生アンケート結果 |

令和8年3月

筑西市

|             |                  |          |
|-------------|------------------|----------|
| <b>■ I</b>  | <b>調査の概要</b>     | <b>1</b> |
| <hr/>       |                  |          |
| 1           | 調査の概要 .....      | 2        |
| 2           | アンケート調査項目 .....  | 3        |
| 3           | 調査結果のまとめ .....   | 5        |
| <br>        |                  |          |
| <b>■ II</b> | <b>調査結果</b>      | <b>9</b> |
| <hr/>       |                  |          |
| 1           | 小学生アンケート結果 ..... | 9        |
| 2           | 中学生アンケート結果 ..... | 23       |

# I 調査の概要

# 1 調査の概要

## (1) 調査の目的

筑西市の小学4年生・義務教育学校4年生、中学2年生と義務教育学校8年生、中高一貫校2年生を対象として、男女平等に対するの考え方をすることを目的として、アンケート調査を実施しました。

## (2) 調査方法

### ○調査対象者

筑西市の小学4年生、義務教育学校4年生、中学2年生、義務教育学校8年生、中高一貫校2年生（23校）

○配布数 1,565票（小学生747票、中学生818票）

○調査方法 WEB回答

○調査期間 令和7年11月25日（火）～令和7年12月15日（月）

## (3) 配布・回収状況

○回収数 1,181票（回収率：75.5%）

| 区分  | 有効回収数（全体）       | 有効回収数（小学生）      | 有効回収率（中学生）      |
|-----|-----------------|-----------------|-----------------|
| 総数  | 1,181票          | 578票            | 603票            |
| 男性  | 569票<br>(48.2%) | 275票<br>(47.6%) | 294票<br>(48.8%) |
| 女性  | 609票<br>(51.6%) | 303票<br>(52.4%) | 306票<br>(50.7%) |
| その他 | 3票<br>(0.3%)    | 0票<br>(0.0%)    | 3票<br>(0.5%)    |

## (4) アンケート調査の分析にあたっての注意事項

- ・グラフや表中の回答選択肢は、短縮や補足をして表記している場合があります。
- ・比率はすべて百分率で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。そのため、百分率の合計が100%にならない場合があります。
- ・複数回答の設問については、母数を有効回答者数としているため、百分率の合計が100%を超える場合があります。
- ・有効回答者数は各設問に（n=●●）で表しています。回答数が限定されている設問で規定数以上を選択しているものや、対象者限定の設問で非対象者が選択したものはカウントしていません。
- ・回答が少数である設問の比率については、特定の意向が強く反映される場合があります。
- ・学校種別と学校名が明らかに合致しない回答者は、学校名の設問で無効票としています。

## 2 アンケート調査項目

| 小学生アンケート調査内容  |
|---|
| 性別  |
| 小学校   |
| 問1 学校生活のなかで感じていることについて、次のことについてどう思うか。<br>①「学校の係や当番で男子・女子と決まっているものがある」<br>②「いろいろな場面で男子が先、女子が後にされている」<br>③「いろいろな場面で女子のほうが甘やかされている」<br>④「いろいろな場面で男子のほうが期待されている」<br>⑤「学級や学年代表、班長などは男子に向いている」<br>⑥「教室のそうじや整理整頓は女子に向いている」<br>⑦「女子は音楽が得意である」<br>⑧「男子は運動が得意である」 |
| 問2 あなたはおとなの人に「男だから〇〇しなさい」や「女だから〇〇しなさい」と言われたことがあるか。  |
| 問3 問2で「よく言われる」または「ときどき言われる」と答えた人。<br>あなたはその時どんな気持ちでしたか。   |
| 問4 あなたは現在、男女の地位は平等になっていると思うか。   |
| 問5 あなたは家の中で、食事のしたくやそうじ、洗濯のような家事は、誰がやるのが一番よいと思うか。  |
| 問6 あなたは「男（夫）は外で働き、女（妻）は家庭を守るべき」という考え方をどう思うか。  |
| 問7 あなたには、将来やりたい仕事があるか。  |
| 問8 問7であると回答した人。どんな仕事をやりたいか。   |
| 問9 あなたはこれまで怖い思いをしたことがあるか。（誰かに家や学校の周りで付きまとわれる、体を触られる、いやなことをされるなど）  |
| 問10 次の言葉を聞いたことがあるか。<br>①「男女共同参画社会」<br>②「DV（ドメスティック・バイオレンス）」<br>③「セクシュアル・ハラスメント（セクハラ）」<br>④「LGBTQ（性的マイノリティ）」<br>⑤「ジェンダー（文化・社会的につくられた性差）」   |

| 中学生アンケート調査内容  |
|---|
| 性別  |
| 中学校   |
| 問1 学校生活のなかで感じていることについて、次のことについてどう思うか。<br>①「学校の係や当番で男子・女子と決まっているものがある」<br>②「いろいろな場面で男子が先、女子が後にされている」<br>③「いろいろな場面で女子のほうが甘やかされている」<br>④「いろいろな場面で男子のほうが期待されている」<br>⑤「学級や学年代表、班長などは男子に向いている」<br>⑥「教室のそうじや整理整頓は女子に向いている」<br>⑦「女子は音楽が得意である」<br>⑧「男子は運動が得意である」 |
| 問2 あなたはおとなの人に「男だから〇〇しなさい」や「女だから〇〇しなさい」と言われたことがあるか。  |
| 問3 問2で「よく言われる」または「ときどき言われる」と答えた人。<br>あなたはその時どんな気持ちでしたか。   |
| 問4 あなたは現在、男女の地位は平等になっていると思うか。<br>①家庭生活の場で ②学校教育の場で ③社会全体で   |
| 問5 あなたは家の中で、食事のしたくやそうじ、洗濯のような家事は、誰がやるのが一番よいと思うか。  |
| 問6 あなたは「男(夫)は外で働き、女(妻)は家庭を守るべき」という考え方をどう思うか。  |
| 問7 あなたには、将来やりたい仕事があるか。  |
| 問8 問7であると回答した人。どんな仕事をやりたいか。   |
| 問9 あなたは女性が仕事をもつことについてどう思うか。   |
| 問10 あなたはこれまで怖い思いをしたことがあるか。(誰かに家や学校の周りで付きまとわれる、体を触られる、いやなことをされるなど)   |
| 問11 あなたはLGBTQ(性的マイノリティ)の人権が尊重され、差別を受けることのない社会になっていると思うか。  |
| 問12 あなたは、自分自身の性について悩んだことがあるか。(現在悩んでいる人を含む)  |
| 問13 【女子限定】家庭の事情などで生理用品の用意に困ったことがあるか。  |
| 問14 次の言葉を聞いたことがあるか。<br>①「男女共同参画社会」<br>②「DV(ドメスティック・バイオレンス)」<br>③「セクシュアル・ハラスメント(セクハラ)」<br>④「LGBTQ(性的マイノリティ)」<br>⑤「ジェンダー(文化・社会的につくられた性差)」   |

### 3 調査結果のまとめ

#### (1)属性について

- ・小学生の男女比は女子の方がやや多く、令和2年の調査時と比べその差が広がっています。
- ・中学生の男女比も女子の方がやや多く、令和2年の調査時と比べその差が広がっていますが、令和7年調査においては性別を特定しない「その他」を選択した生徒が若干いました。

#### (2)学校の中のアンコンシャス・バイアス

- ・小学生では、「学校の係や当番は男子・女子で決まっているものがある」、いろいろな場面で「男子が先、女子が後にされている」「女子の方が甘やかされている」と思う児童が、令和2年調査と比べて増加しています。
- ・一方、「いろいろな場面で男子のほうに期待されている」「学級や学年代表、班長などは男子に向いている」「教室のそうじや整理整頓は女に向いている」等のアンコンシャス・バイアスについては、令和2年調査と比べてそう思う児童が少なくなっており、意識の変化が見られます。
- ・中学生では、「学校の係や当番は男子・女子で決まっているものがある」「学級や学年代表、班長などは男子に向いている」と思う生徒が、令和2年調査と比べて増加しています。
- ・一方、「教室のそうじや整理整頓は女に向いている」「女子は音楽が得意」「男子は運動が得意」については、令和2年調査と比べてそう思う児童が少なくなっており、意識の変化が見られます。
- ・いろいろな場面で「男子が先、女子が後にされている」「女子の方が甘やかされている」「男子のほうに期待されている」は中学生には今回初めて聞いていますが、小学生と比べそう思うの割合はほぼ同じくらいですが、「女子の方が甘やかされている」は5割弱とやや高くなっています。

#### (3)大人のアンコンシャス・バイアス

- ・大人から「男だから〇〇しなさい」「女だから〇〇しなさい」と言われたことがあるは、小学生で約2割、中学生では約4割で、令和2年調査と比べるといずれも減少しています。
- ・大人からのアンコンシャス・バイアスは小学生よりも中学生の方が言われたことがある人が多くなっています。中学生女子においては、言われたことがあるとの回答が令和2年調査では約6割ですが、令和7年調査では約4割と大きく減少しており、大人の意識が変化してきているのがわかります。
- ・言われたことがある人は、「いやな気持ちがあった」が小学生で約4割、中学生で約5割となっています。また、令和2年調査と比べて「その通りだと思った」が小学生、中学生ともに減少しており、大人からのアンコンシャス・バイアスを単に受入れるのではなく、自分の意思がしっかりしている児童生徒が増えてきているのがわかります。

#### (4)男女の地位の平等について

- ・小学生では、男女の地位が「平等である」が約4割5分で、「女性の方が優遇されている」も約1割となっています。
- ・中学生では場面ごとの設問となっており、「家庭生活の場」「学校教育の場」では「平等である」が約4割5分に対して、「社会全体で」では約2割と減少しています。
- ・「家庭生活の場」「学校教育の場」に比べ、「社会全体で」では、「男性の方が優遇されている」が約2割となっています。

## (5) 固定的性別役割分担意識について

- ・小学生では、家事は「男の人と女の人が協力してやるのがよい」が7割以上となっています。
- ・一方で「男は外で働き、女は家庭を守るべき」という考えは賛成と反対の意見がほぼ同じ割合です。男女別で見ると男子は賛成が、女子は反対の割合が多くなっており、男女で意見の違いがあります。
- ・中学生では、家事は「男の人と女の人が協力してやるのがよい」が8割以上で、小学生と比べやや高くなっています。
- ・「男は外で働き、女は家庭を守るべき」という考えは反対の意見が約6割となっています。男女別で見ると男子は賛成が2割近くであるが、女子は賛成の割合が1割に満たず、男女で意見の違いがあります。

## (6) 将来の夢・女性の活躍推進について

- ・将来やりたい仕事がある小学生は6割5分で、中学生になると約4割と減少しており、小学生に比べ「わからない」の割合が18.2ポイントほど増加しており、将来について夢だけでなく現実を考えるようになってきているようです。
- ・どんな仕事をやりたいかについては、小学生男子では「サッカー選手」「ユーチューバー」「野球選手」が上位を占めていますが、中学生男子になると「学校の先生」「スポーツ関係」「公務員」と身近な職業が上位となっています。
- ・一方女子は、小学生で「保育士」「美容師」「学校の先生」、中学生で「保育士」「看護師」「学校の先生」となっており、学年で大きな差は見られず、身近な仕事が上位を占めています。

## (7) DVIに関連して

- ・これまでに付きまといや体を触られるなど怖い思いをしたことがあるかについて、小学生、中学生ともに約2割が「ある」と答えており、どちらも女子より男子の方がやや高い割合となっています。

## (8) 性の多様性について(中学生のみ)

- ・LGBTQの人権が尊重され、差別を受けることのない社会になっていると思う生徒は約3割5分で、そう思わない生徒の方がやや割合が高くなっています。
- ・男女別で見ると、女子生徒の方がその傾向が強く、そう思わないが約4割となっています。
- ・性別で「その他」を選択した生徒は、人権が尊重され、差別を受けることのない社会になっていると思う割合が10割となっています。

## (9) 生理用品の備品について(中学生女子のみ)

- ・家庭の事情などで生理用品の用意に困ったことがある生徒は約2割いて、学校のトイレに生理用品を置くなどの対策が必要と思われます。

## (10) 用語の認知度について

- ・用語の認知度については、小学生に比べ中学生の方が認知度は高くなっています。
- ・「男女共同参画社会」は、小学生では「聞いたことがない」が約7割となっています。中学生になると約4割に減少するものの、学校教育の場での周知・啓発が必要です。

- ・「DV」は、小学生では「聞いたことがない」が約7割となっています。中学生になると約2割に減少します。DVについては児童虐待が社会問題になっていることから、幼い頃から暴力から身を守ることの教育が必要です。
- ・「セクシュアル・ハラスメント」は、小学生では「聞いたことがない」が約2割となっています。中学生になると約1割に満たない程減少します。
- ・「LGBTQ」は、小学生では「聞いたことがない」が約8割となっています。中学生になると約3割と減少しますが、学校教育の場での周知・啓発が必要です。
- ・「ジェンダー」は、小学生では「聞いたことがない」が約7割となっています。中学生になると約2割と減少しますが、学校教育の場での周知・啓発が必要です。

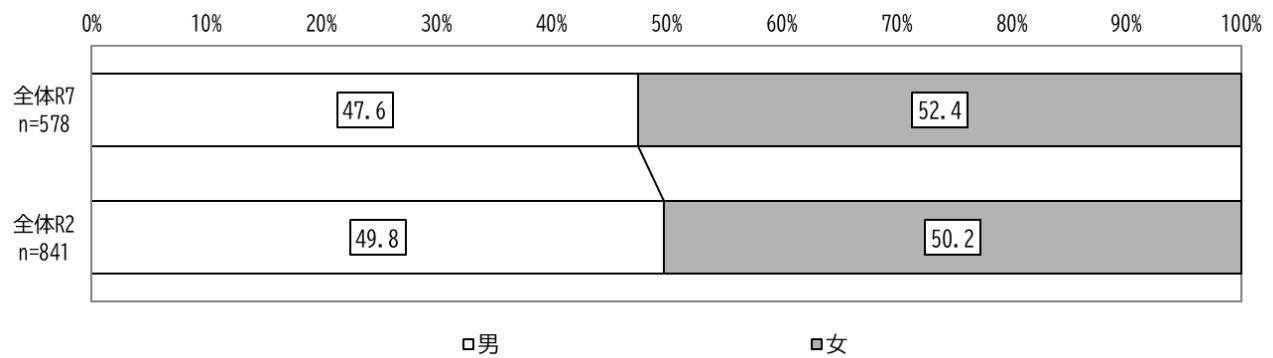


## **II 調査結果**

### **1 小学生アンケート結果**

# 1 小学生アンケート結果

性別（男・女・その他）

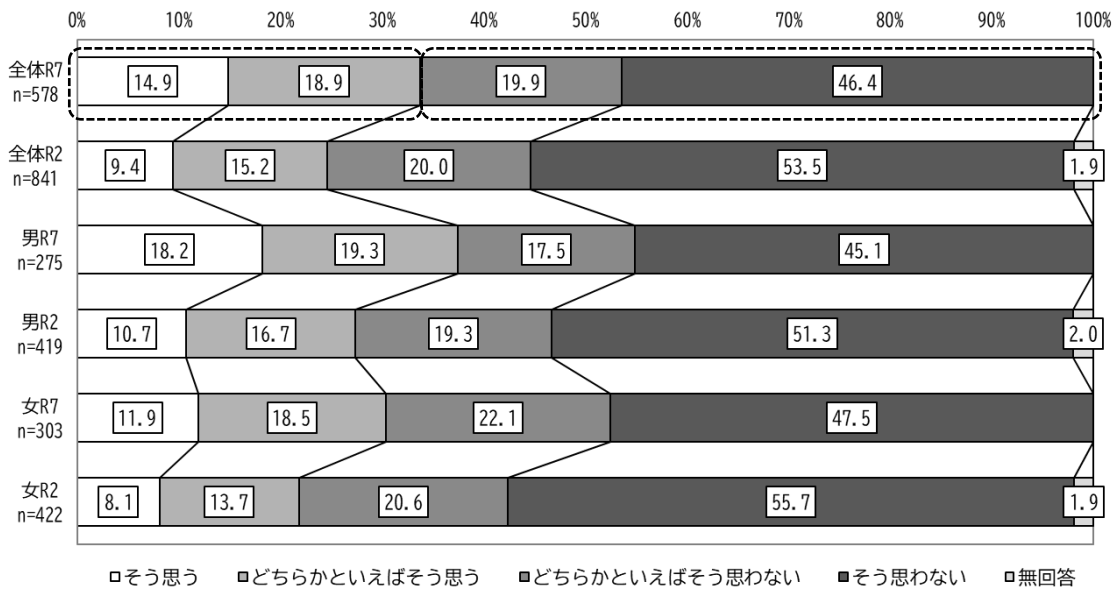


- ・回答者の性別は、「男」が47.6%、「女」が52.4%です。「その他」の回答はありませんでした。
- ・今回調査の女子の割合（52.4%）は、令和2年度筑西市男女共同参画に関する小中中学生意識調査報告書（以下「前回調査」）（50.2%）よりも多くなっています。

問1 学校生活のなかで感じていることについて、次のことについてどう思うか。

① 「学校の係や当番で男子・女子と決まっているものがある」

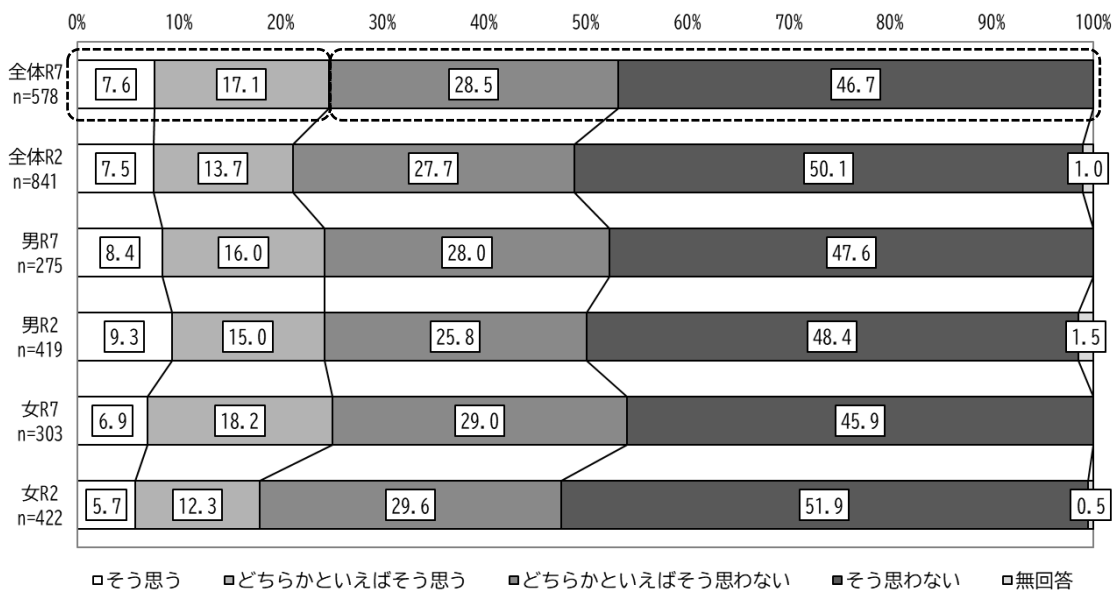
学校の係や当番は性別で決まっているものがあると思う児童は、3割以上。



・『思う』（「そう思う」「どちらかといえばそう思う」）割合は33.8%、『思わない』（「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」）割合は66.3%となっています。『思う』割合は、前回調査より男女ともに増加（全体：24.6%→33.8%、男子：27.4%→37.5%、女子：21.8%→30.4%）しています。

② 「いろいろな場面で男子が先、女子が後にされている」

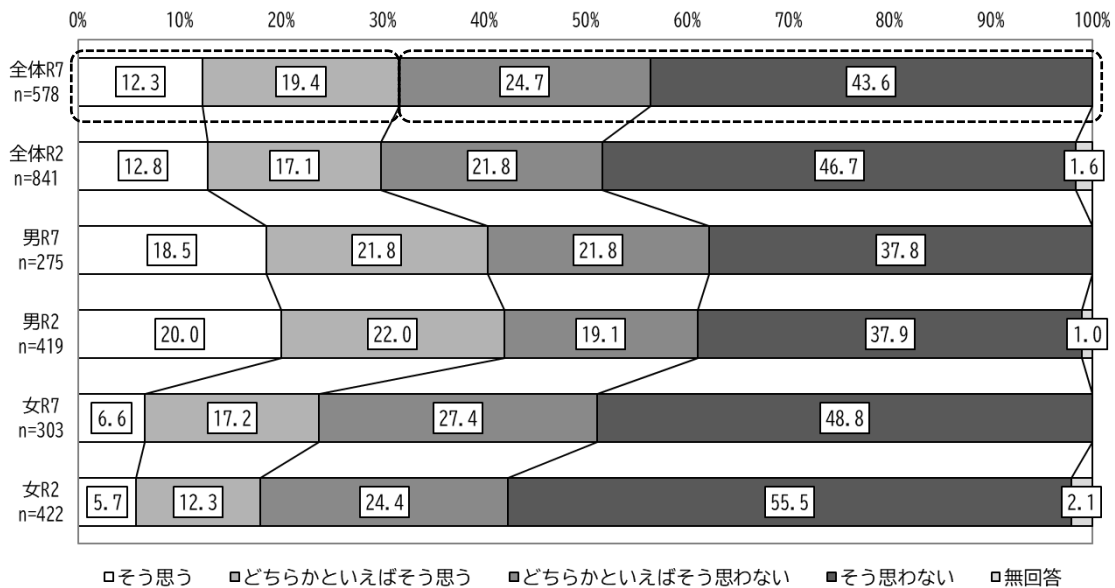
いろいろな場面で男子が優先されていると思う児童は、2割5分。



・『思う』（「そう思う」「どちらかといえばそう思う」）割合は24.7%、『思わない』（「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」）割合は75.2%となっています。『思う』割合は、前回調査より男女ともに増加（全体：21.2%→24.7%、男子：24.3%→24.4%、女子：18.0%→25.1%）しています。

③ 「いろいろな場面で女子のほうが甘やかされている」

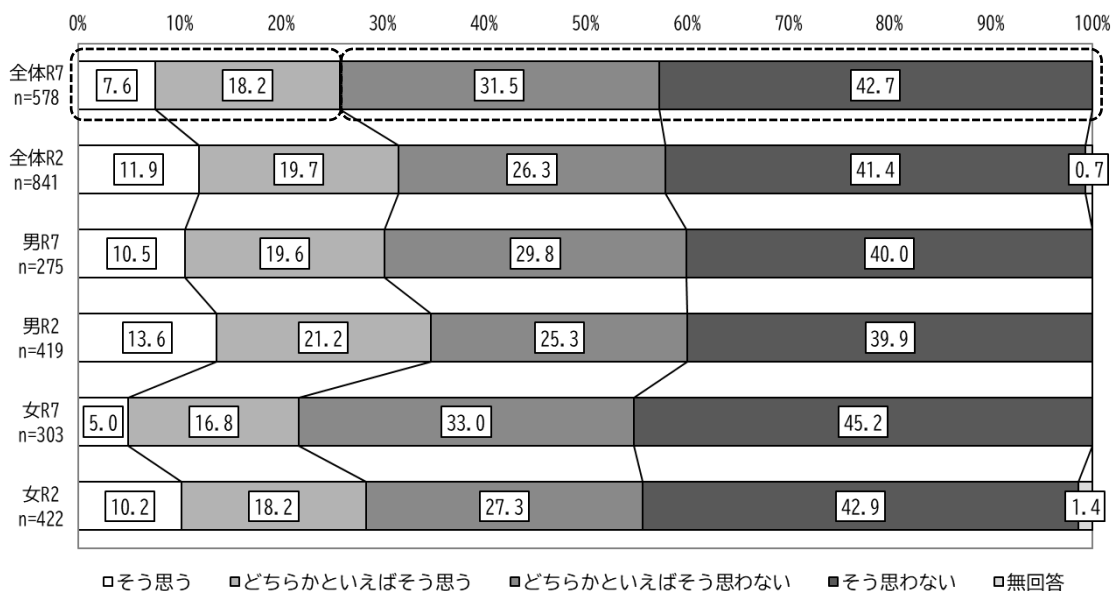
いろいろな場面で女子のほうが甘やかされていると思う児童は、3割以上。



・『思う』（「そう思う」「どちらかといえばそう思う」）割合は31.7%、『思わない』（「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」）割合は68.3%となっています。『思う』割合は、前回調査より男子（42.0%→40.3%）は減少、全体（29.9%→31.7%）と女子（18.0%→23.8%）は増加しています。

④ 「いろいろな場面で男子のほうが期待されている」

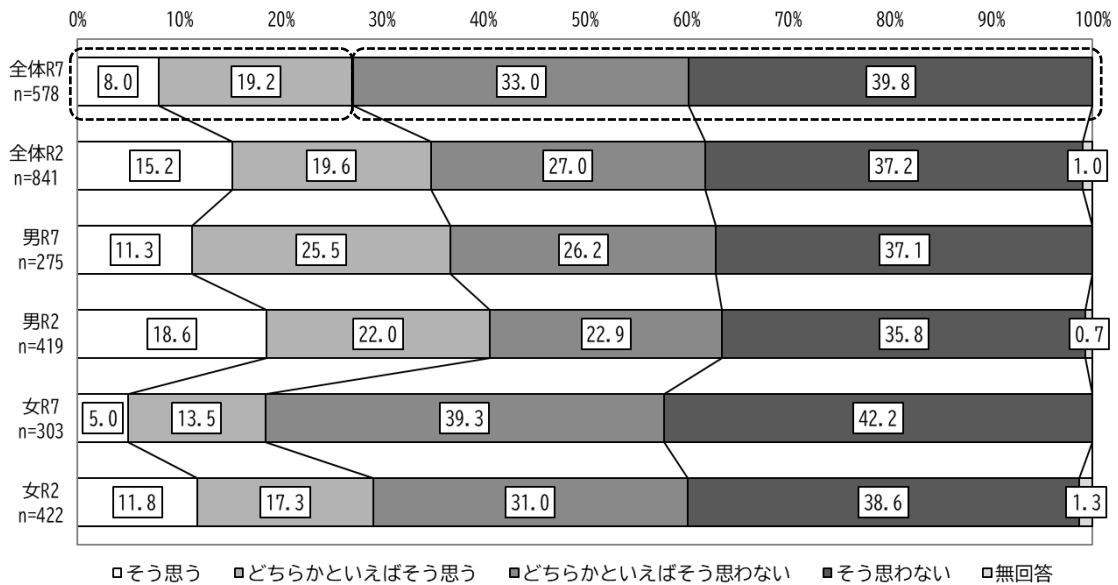
いろいろな場面で男子が期待されていると思う児童は、2割5分。



・『思う』（「そう思う」「どちらかといえばそう思う」）割合は25.8%、『思わない』（「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」）割合は74.2%となっています。『思う』割合は、前回調査より男女ともに減少（全体：31.6%→25.8%、男子：34.8%→30.1%、女子：28.4%→21.8%）しています。

⑤ 「学級や学年代表、班長などは男子に向いている」

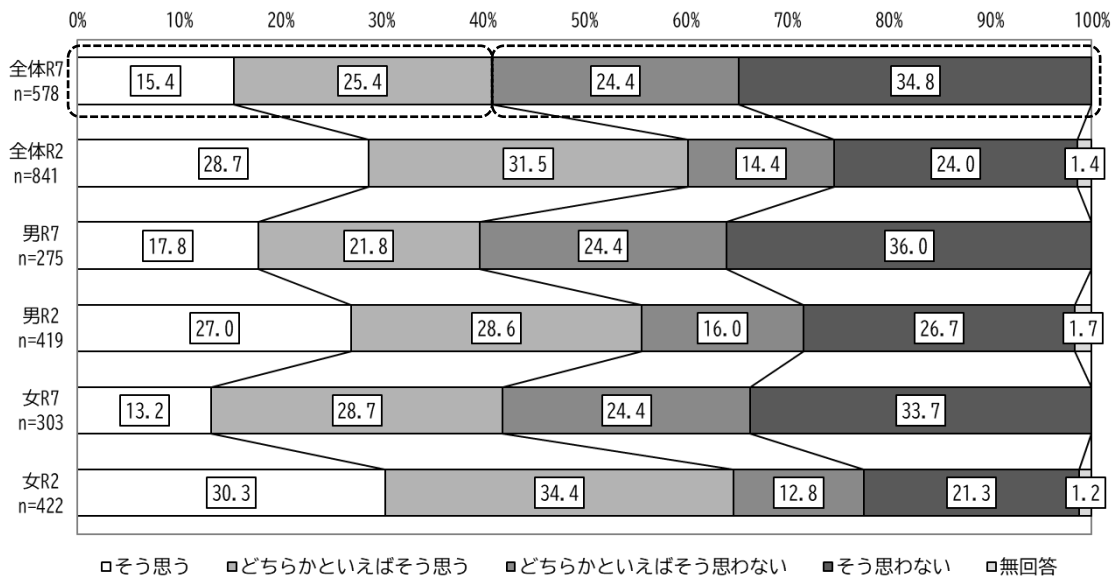
学級や学年代表、班長などは男子に向いていると思う児童は、約3割。



・『思う』（「そう思う」「どちらかといえばそう思う」）割合は27.2%、『思わない』（「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」）割合は72.8%となっています。『思う』割合は、前回調査より男女ともに減少（全体：34.8%→27.2%、男子：40.6%→36.8%、女子：29.1%→18.5%）しています。

⑥ 「教室のそうじや整理整頓は女子に向いている」

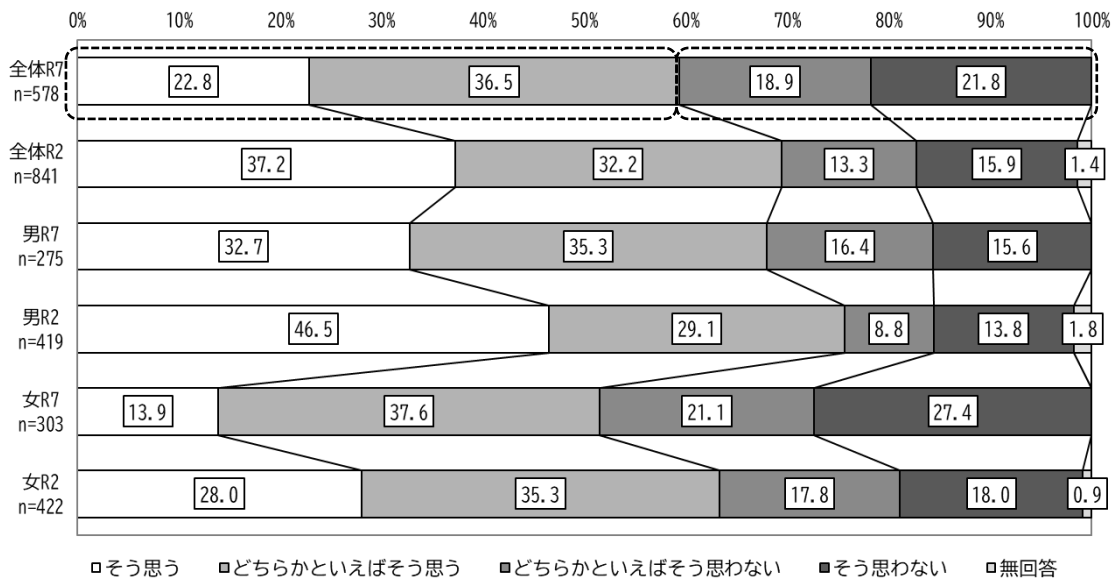
教室のそうじや整理整頓は女子に向いていると思う児童は、4割以上。



・『思う』（「そう思う」「どちらかといえばそう思う」）割合は40.8%、『思わない』（「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」）割合は59.2%となっています。『思う』割合は、前回調査より男女ともに大きく減少（全体：60.2%→40.8%、男子：55.6%→39.6%、女子：64.7%→41.9%）しています。

⑦ 「女子は音楽が得意である」

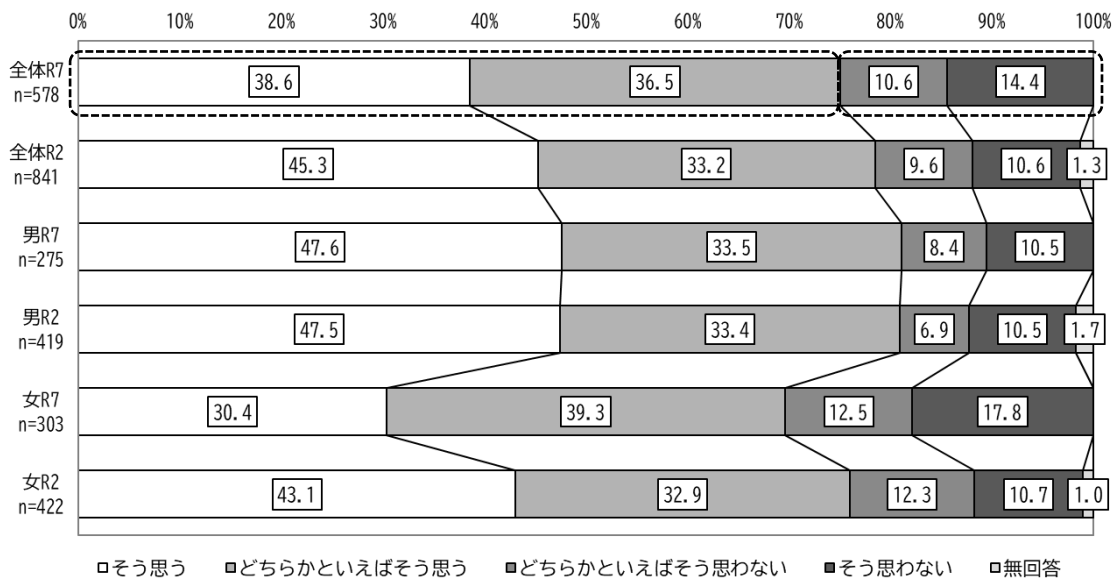
女子は音楽が得意であると思う児童は、約6割。



・『思う』（「そう思う」「どちらかといえばそう思う」）割合は59.3%、『思わない』（「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」）割合は40.7%となっています。『思う』割合は、前回調査より男女ともに減少（全体：69.4%→59.3%、男子：75.6%→68.0%、女子：63.3%→51.5%）しています。

⑧ 「男子は運動が得意である」

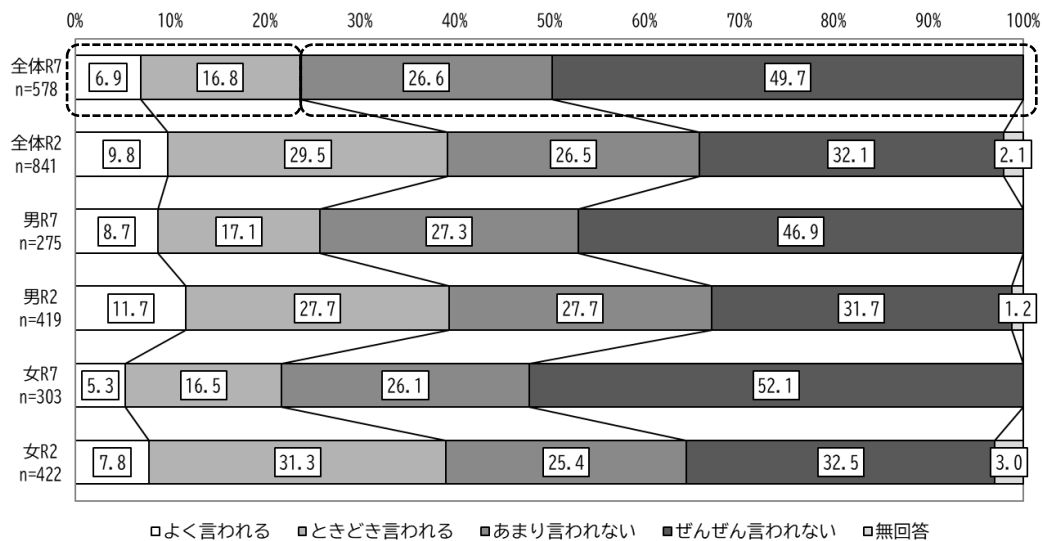
男子は運動が得意であると思う児童は、約7割5分。



・『思う』（「そう思う」「どちらかといえばそう思う」）割合は75.1%、『思わない』（「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」）割合は25.0%となっています。『思う』割合は、前回調査より、男子（80.9%→81.1%）では増加、全体（78.5%→75.1%）と女子（76.0%→69.7%）では減少しています。

問2 あなたはおとなの人に「男だから〇〇しなさい」や「女だから〇〇しなさい」と言われたことがあるか。

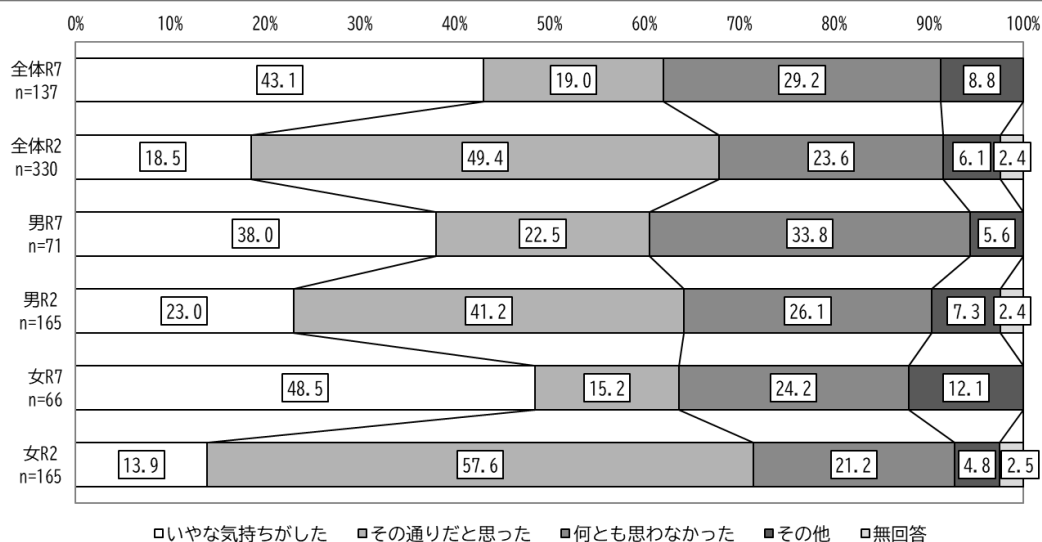
おとなの人に言われたことがある児童は、2割以上。



・『言われる』（「よく言われる」「ときどき言われる」）割合は23.7%、『言われない』（「あまり言われない」「ぜんぜん言われない」）割合は76.3%となっています。『言われる』割合は、前回調査より男女ともに大きく減少（全体：39.3%→23.7%、男子：39.4%→25.8%、女子：39.1%→21.8%）しています。

問3 問2で「よく言われる」または「ときどき言われる」と答えた人。あなたはその時どんな気持ちでしたか。

いやな気持ちでした児童は、4割以上。その通りだと思った人は、約5割から約2割に減少。

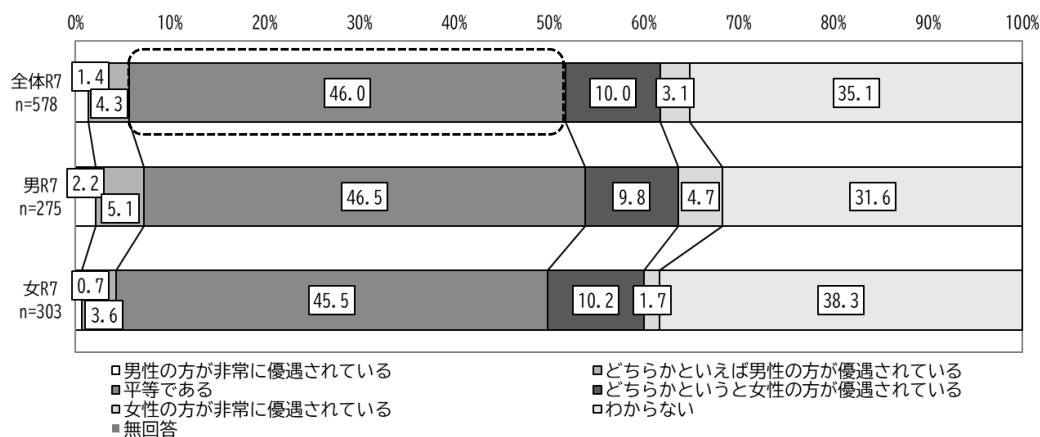


・「いやな気持ちでした」割合が43.1%、「何とも思わなかった」割合が29.2%となっています。「その通りだと思った」割合は、前回調査より男女ともに大きく減少（全体：49.4%→19.0%、男子：41.2%→22.5%、女子：57.6%→15.2%）しています。

その他(男子)：「ふつう」「ちょっとやだ」「なんでなんだろうと思った」「なんで僕がやらなきゃダメなのと思っている」  
 その他(女子)：「自分の好きなようにしたい」「わからない」「何でと思った」「めんどくさい」「自分らしくしたいなと思った」「頭の中が混乱した」「まあまあ」「確かにそう思うな」

問4 あなたは現在、男女の地位は平等になっていると思うか。

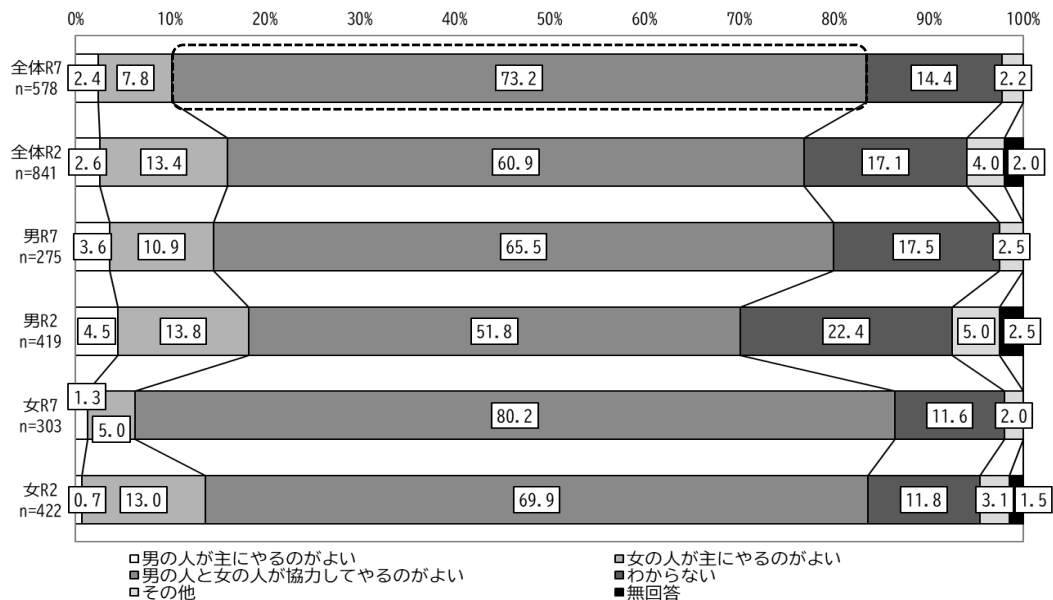
平等だと思う児童は、約4割5分。



- ・「平等である」が46.0%、「わからない」が35.1%となっています。「平等である」と思う割合は、女子（45.5%）と男子（46.5%）はほぼ同程度となっています。

問5 あなたは家の中で、食事のしたくやそうじ、洗濯のような家事は、誰がやるのが一番よいと思うか。

家事は「男の人と女の人が協力してやるのがよい」と思う児童は、7割以上。

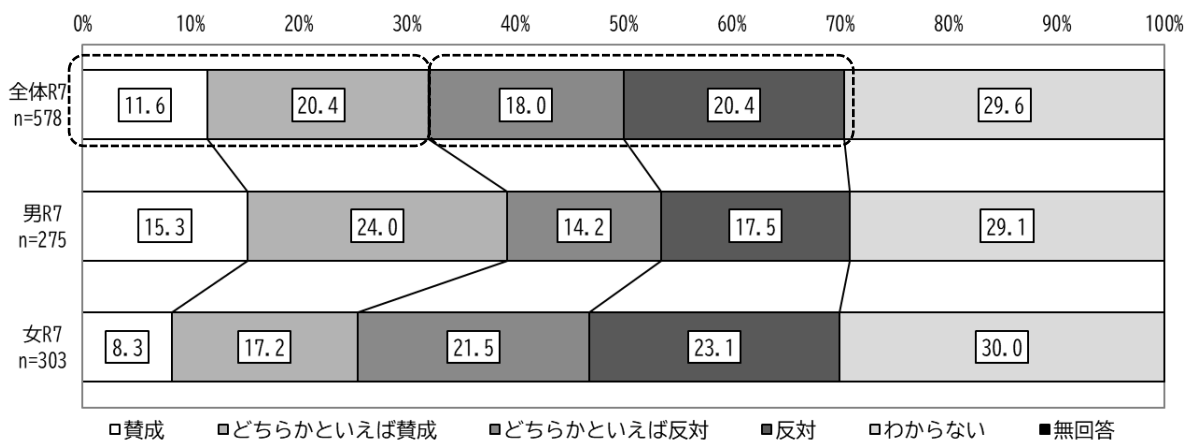


- ・「男の人と女の人が協力してやるのがよい」が73.2%、「わからない」が14.4%となっています。
- ・「男の人と女の人が協力してやるのがよい」は、前回調査より男女ともに増加（全体：60.9%→73.2%、男子：51.8%→65.5%、女子：69.9%→80.2%）しています。
- ・「男の人が主にやるのがよい」「女の人が主にやるのがよい」の合計は前回調査より減少していますが、女子の「男の人が主にやるのがよい」のみ、前回調査(0.7%)を今回調査(1.3%)が上回っています。

その他(男子)：「家族みんな(4票)」「最初に気づいたひと」「大人」「交代してやる」  
 その他(女子)：「家族みんな(3票)」「一緒にやる」「誰でも良い」「自分のことは自分でやる」

問6 あなたは「男（夫）は外で働き、女（妻）は家庭を守るべき」という考え方をどう思うか。

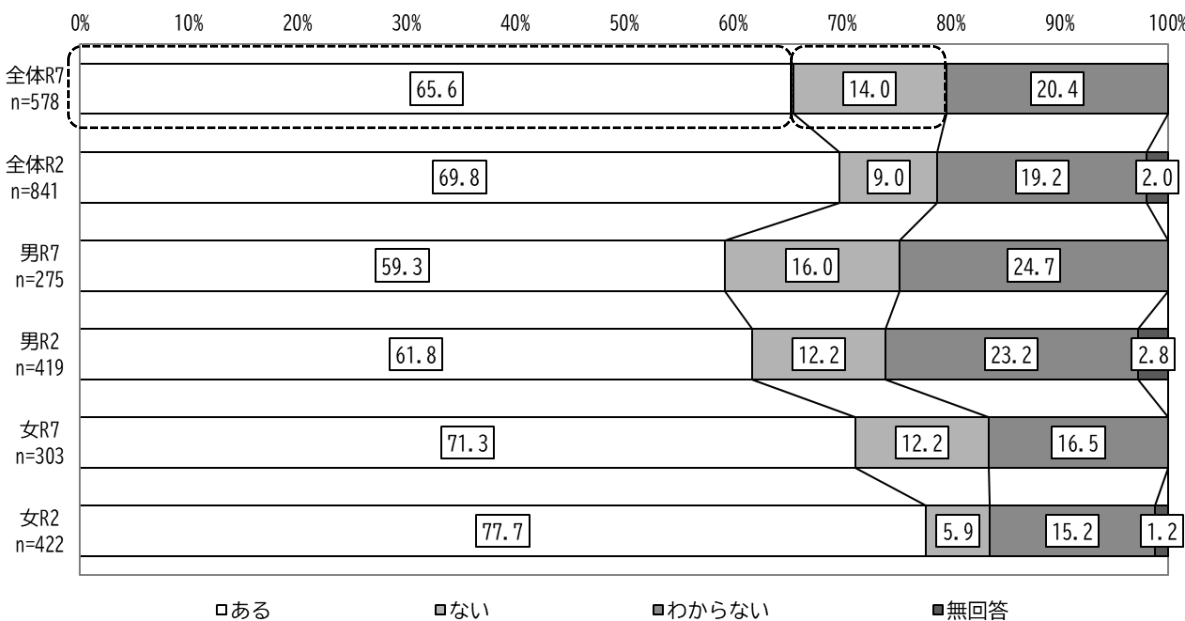
「男（夫）は外で働き、女（妻）は家庭を守るべき」という考え方に『反対』だと思う児童は、約4割。



- ・『反対』（「どちらかといえば反対」「反対」）が38.4%、『賛成』（「賛成」「どちらかといえば賛成」）が32.0%となっています。『反対』の割合は、男子(31.7%)より女子(44.6%)が高く、『賛成』の割合は、女子(25.5%)より男子(39.3%)が高くなっています。

問7 あなたには、将来やりたい仕事があるか。

将来やりたい仕事がある児童は、約6割5分。



- ・将来やりたい仕事が「ある」は65.6%、「わからない」は20.4%となっています。
- ・将来やりたい仕事が「ある」の割合は、前回調査より男女ともに減少（全体：69.8%→65.6%、男子：61.8%→59.3%、女子：77.7%→71.3%）しています。

問8 問7であると回答した人。どんな仕事をやりたいか。

将来やりたい仕事について、男子は「サッカー選手」、女子は「保育士」が1位。

○将来やりたい仕事（小学生男子）

| 順位/<br>調査年 | R7                 | R2      | H27                     |
|------------|--------------------|---------|-------------------------|
| 1          | サッカー選手             | ユーチューバー | サッカー選手                  |
| 2          | ユーチューバー            | サッカー選手  | プロ野球選手                  |
| 3          | 野球選手               | プロゲーマー  | 警察官<br>料理人・シェフ          |
| 4          | 医者<br>消防士<br>寿司屋さん | 野球選手    | ゲームクリエイター               |
| 5          | 大工<br>シェフ          | 大工      | 消防士<br>大工<br>バスケットボール選手 |

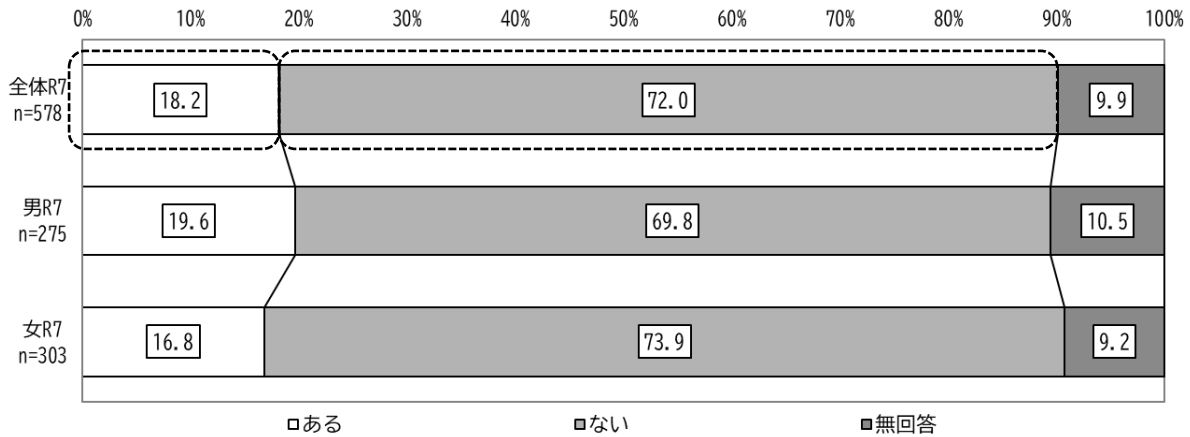
○将来やりたい仕事（小学生女子）

| 順位/<br>調査年 | R7                              | R2    | H27   |
|------------|---------------------------------|-------|-------|
| 1          | 保育士                             | 看護師   | パティシエ |
| 2          | 美容師                             | 美容師   | 看護師   |
| 3          | 学校の先生                           | 保育士   | デザイナー |
| 4          | パティシエ                           | パティシエ | 美容師   |
| 5          | イラストレーター<br>ネイリスト<br>パン屋<br>看護師 | 学校の先生 | 学校の先生 |

- ・男子の将来やりたい仕事は、「サッカー選手」、「ユーチューバー」、「野球選手」が多くなっています。
- ・過去の調査と比較して、サッカー選手（前回2位、前々回1位）や野球選手（前回4位、前々回2位）といったスポーツ関係の仕事をやりたいという男子の割合は高く、またユーチューバー（前回2位）が今回調査でも多くなっています。
- ・女子の将来やりたい仕事は、「保育士」、「美容師」、「学校の先生」が多くなっています。
- ・過去の調査と比較して、保育士（前回3位）や学校の先生（前回5位、前々回5位）など子供に関わる仕事をやりたいという女子の割合が高くなっています。

問9 あなたはこれまで怖い思いをしたことがあるか。(誰かに家や学校の周りで付きまといられる、体を触られる、いやなことをされるなど)

怖い思いをしたことがある児童は、約2割。特に男子で怖い思いをしている児童が多い。

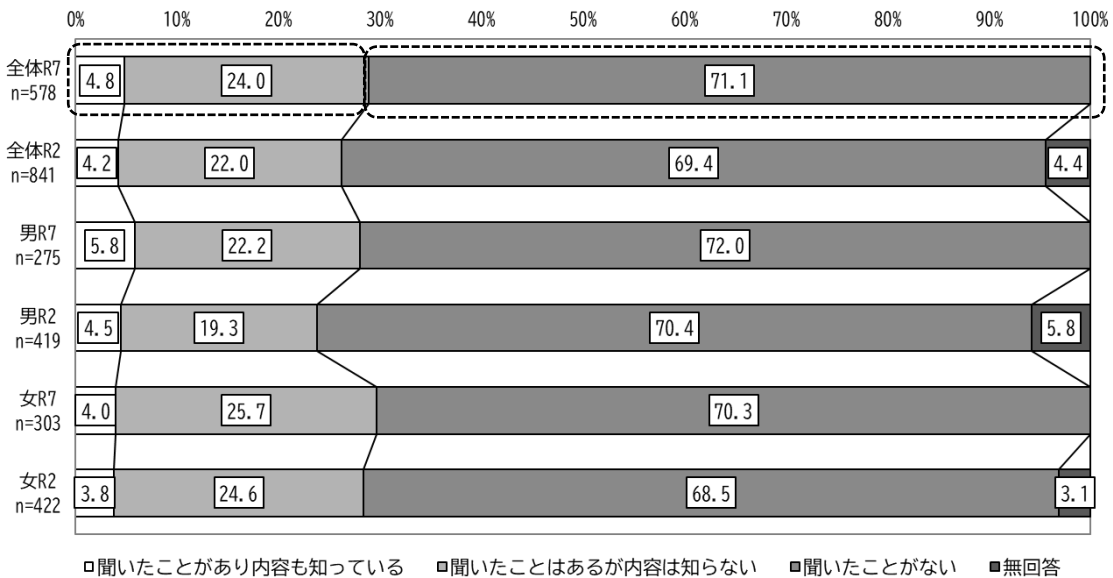


- ・怖い思いをしたことが「ない」児童は72.0%、「ある」児童は18.2%となっており、注視すべき状況となっています。
- ・怖い思いをしたことが「ある」割合は、女子(16.8%)より男子(19.6%)が高くなっています。

問10 用語の認知度—次の言葉を聞いたことがあるか。

① 「男女共同参画社会」

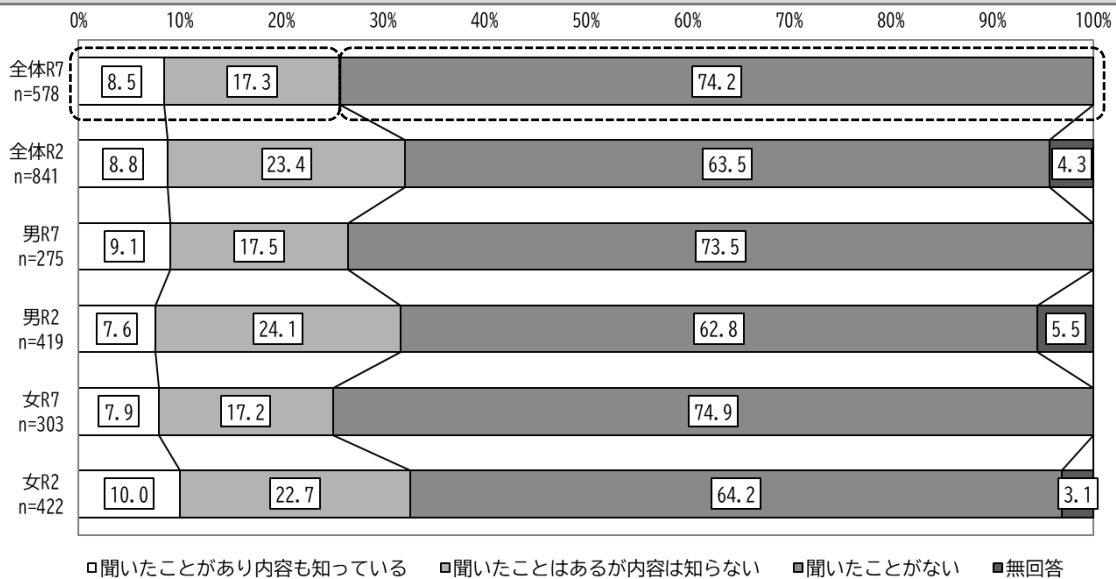
聞いたことがある児童は、約3割。



- ・『言葉を聞いたことがある』(「聞いたことがある内容も知っている」「聞いたことはあるが内容は知らない」)割合は28.8%、一方で「聞いたことがない」の割合は71.1%となっています。
- ・『言葉を聞いたことがある』割合は、前回調査よりも男女ともに増加(全体:26.2%→28.8%、男子:23.8%→28.0%、女子:28.4%→29.7%)しています。

## ② 「DV（ドメスティック・バイオレンス）」

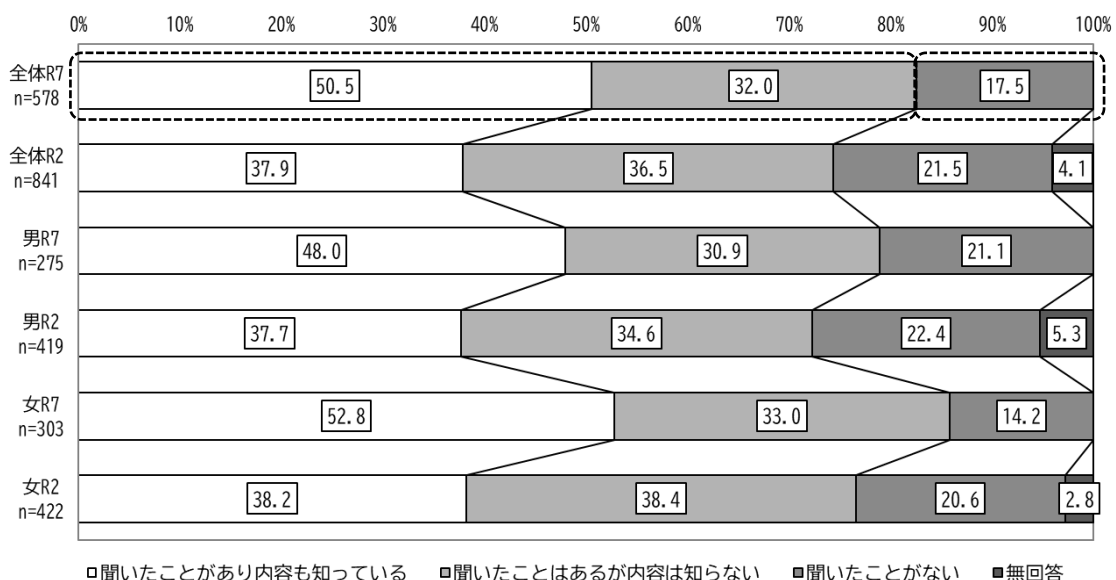
聞いたことがある児童は、2割5分。



- ・『言葉を聞いたことがある』（「聞いたことがあり内容も知っている」「聞いたことはあるが内容は知らない」）割合は25.8%、一方で「聞いたことがない」の割合は74.2%となっています。
- ・『言葉を聞いたことがある』割合は、前回調査よりも男女ともに減少（全体：32.2%→25.8%、男子：31.7%→26.6%、女：32.7%→25.1%）しています。

## ③ 「セクシュアル・ハラスメント（セクハラ）」

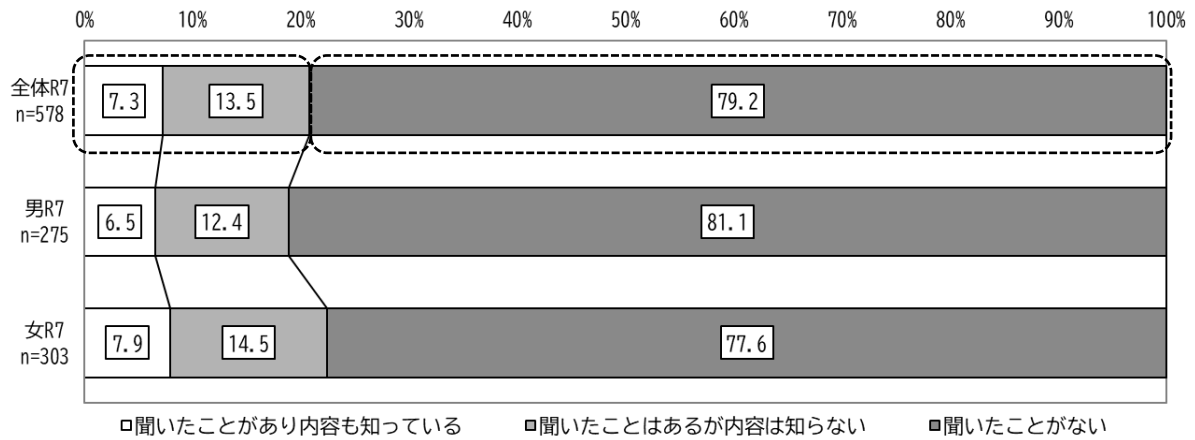
聞いたことがある児童は、8割以上。



- ・『言葉を聞いたことがある』（「聞いたことがあり内容も知っている」「聞いたことはあるが内容は知らない」）割合は82.5%、「聞いたことがない」の割合は17.5%となっています。
- ・『言葉を聞いたことがある』割合は、前回調査よりも男女ともに増加（全体：74.4%→82.5%、男子：72.3%→78.9%、女：76.6%→85.8%）しています。

④ 「LGBTQ (性的マイノリティ)」

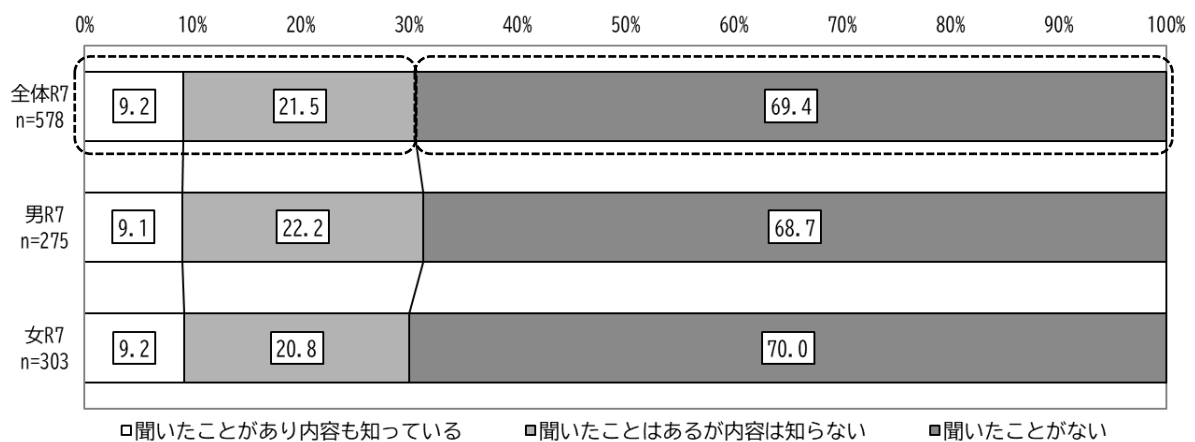
聞いたことがある児童は、約2割。



- ・『言葉を聞いたことがある』（「聞いたことがあり内容も知っている」「聞いたことはあるが内容は知らない」）割合は20.8%、一方で「聞いたことがない」の割合は79.2%となっています。
- ・『言葉を聞いたことがある』割合は、男子（18.9%）より女子（22.4%）が高くなっています。

⑤ 「ジェンダー (文化・社会的につくられた性差)」

聞いたことがある児童は、約3割。



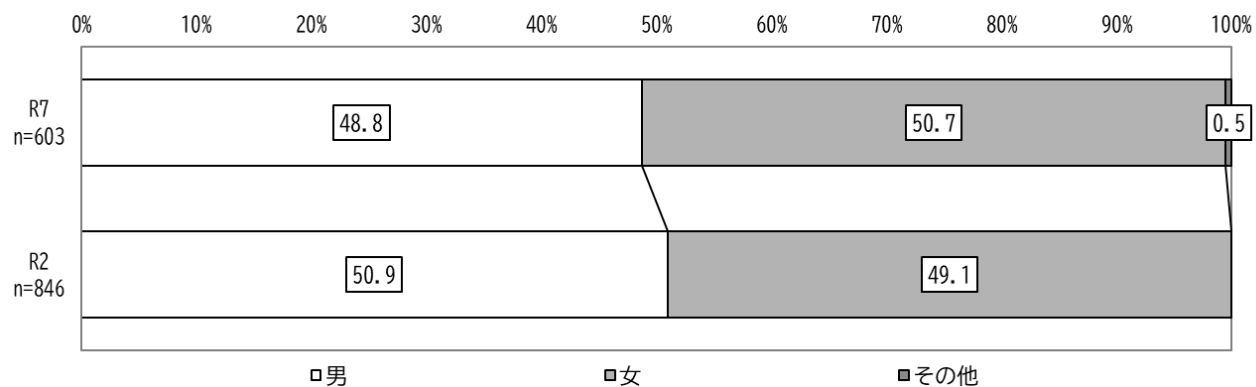
- ・『言葉を聞いたことがある』（「聞いたことがあり内容も知っている」「聞いたことはあるが内容は知らない」）割合は30.7%、一方で「聞いたことがない」の割合は69.4%となっています。
- ・『言葉を聞いたことがある』割合は、女子（30.0%）より男子（31.3%）が高くなっています。



## 2 中学生アンケート結果

## 2 中学生アンケート結果

性別（男・女・その他）

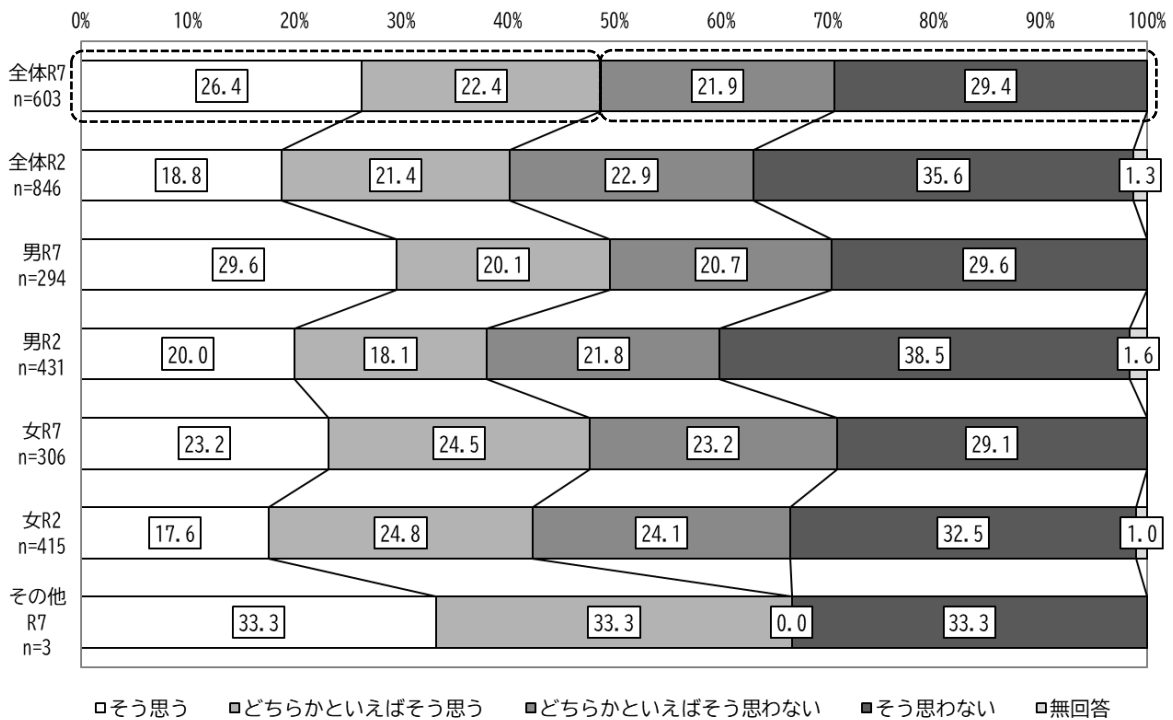


- ・回答者の性別は、「男」が48.8%、「女」が50.7%、「その他」は0.5%です。
- ・今回調査の女子の割合（50.7%）は、前回調査（49.1%）よりも多くなっています。

問1 学校生活のなかで感じていることについて、次のことについてどう思うか。

① 「学校の係や当番で男子・女子と決まっているものがある」

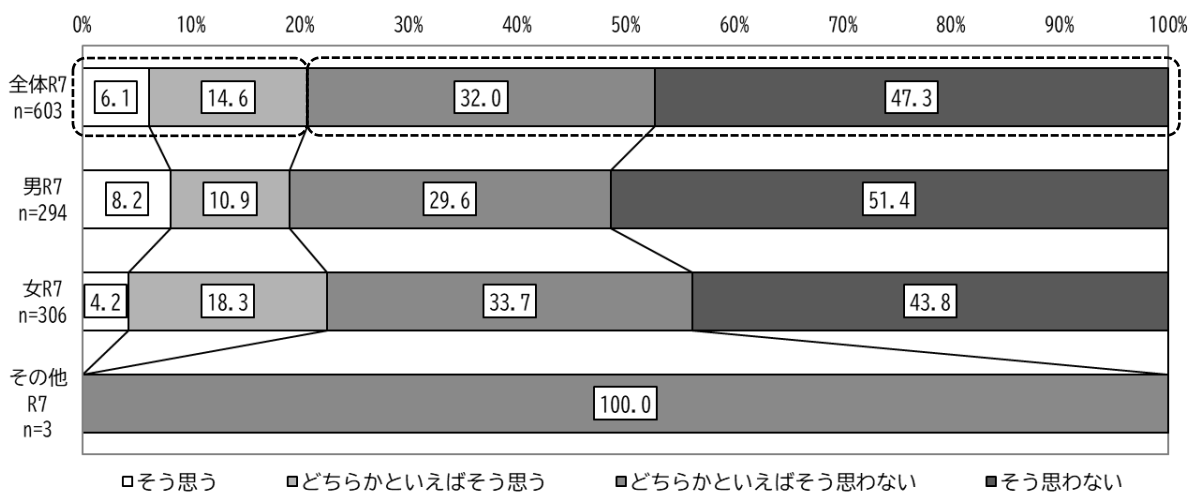
学校の係や当番は性別で決まっているものがあると思う生徒は、約5割。



・『思う』（「そう思う」「どちらかといえばそう思う」）割合は48.8%、『思わない』（「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」）割合は51.3%となっています。『思う』割合は、前回調査より男女ともに増加（全体：40.2%→48.8%、男子：38.1%→49.7%、女子：42.4%→47.7%）しています。

② 「いろいろな場面で男子が先、女子が後にされている」

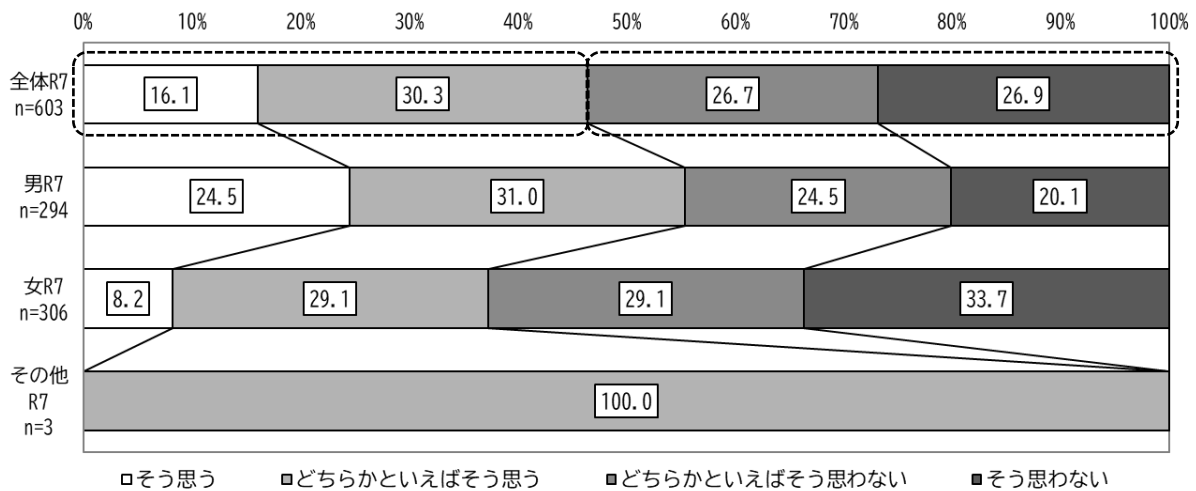
いろいろな場面で男子が優先されていると思う生徒は、2割以上。



・『思う』（「そう思う」「どちらかといえばそう思う」）割合は20.7%、『思わない』（「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」）割合は79.3%となっています。『思う』割合は、男子（19.1%）より女子（22.5%）が高くなっています。その他は「どちらかといえばそう思わない」が100%となっています。

③ 「いろいろな場面で女子のほうが甘やかされている」

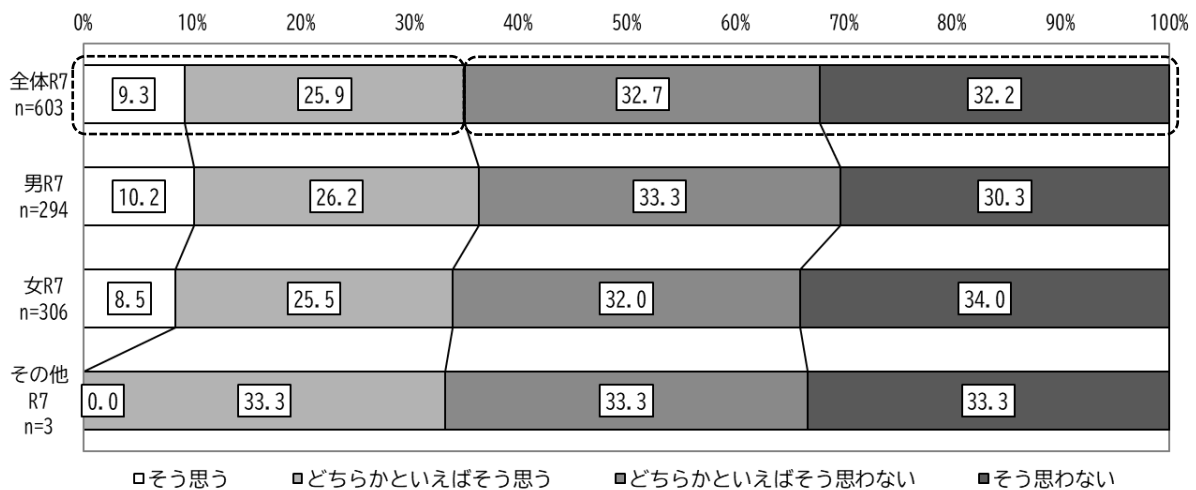
いろいろな場面で女子のほうが甘やかされていると思う生徒は、約5割。



・『思う』（「そう思う」「どちらかといえばそう思う」）割合は46.4%、『思わない』（「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」）割合は53.6%となっています。『思う』割合は、女子（37.3%）より男子（55.5%）が高くなっています。

④ 「いろいろな場面で男子のほうが期待されている」

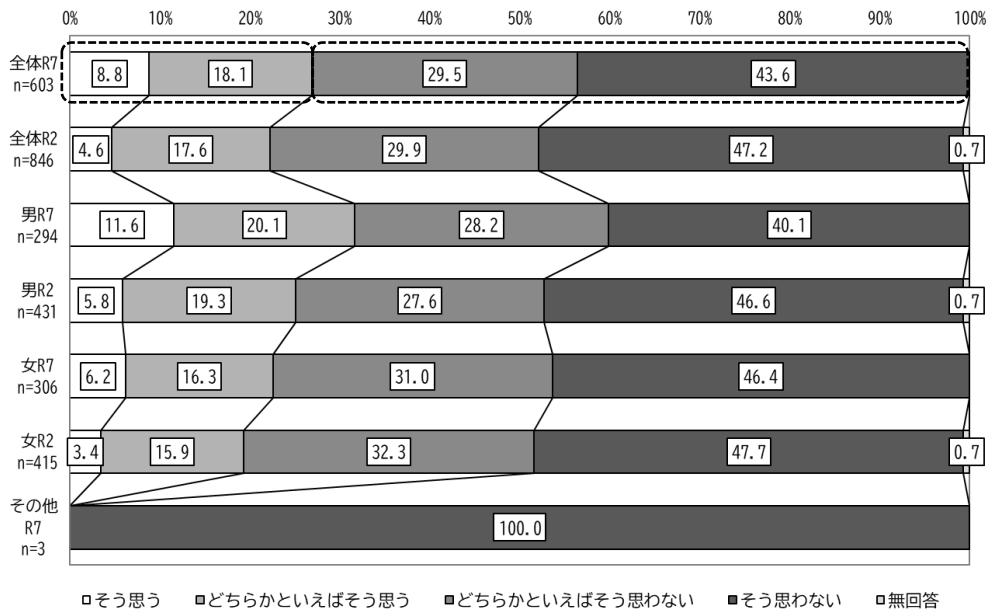
いろいろな場面で男子が優先されていると思う生徒は、約4割。



・『思う』（「そう思う」「どちらかといえばそう思う」）割合は35.2%、『思わない』（「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」）割合は64.9%となっています。『思う』割合は、女子（34.0%）より男子（36.4%）が高くなっています。

⑤ 「学級や学年代表、班長などは男子に向いている」

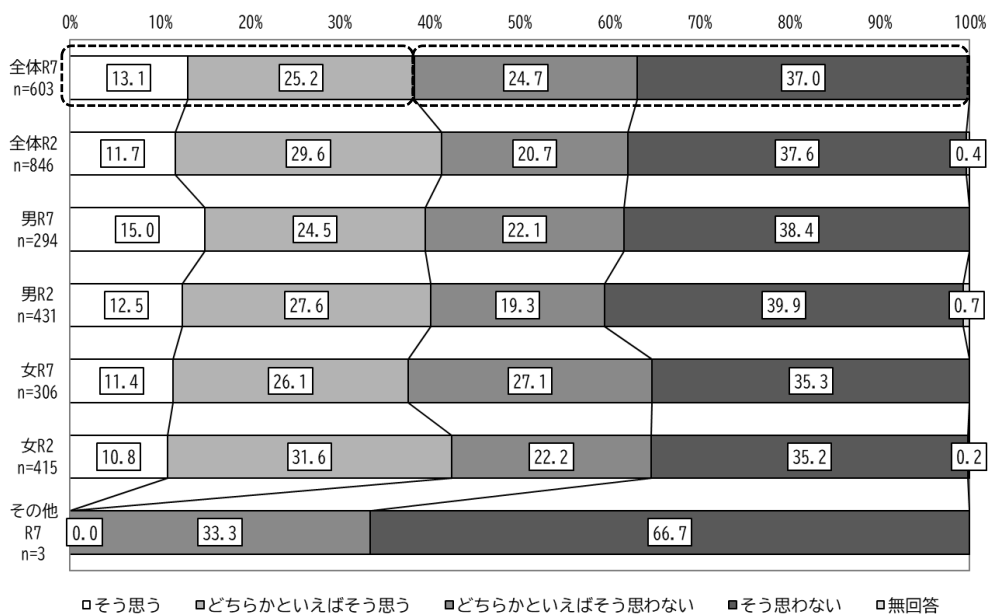
学級や学年代表、班長などは男子に向いていると思う生徒は、約3割。



・『思う』（「そう思う」「どちらかといえばそう思う」）割合は26.9%、『思わない』（「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」）割合は73.1%となっています。『思う』割合は、前回調査より男女ともに増加（全体：22.2%→26.9%、男子：25.1%→31.7%、女子：19.3%→22.5%）しています。

⑥ 「教室のそうじや整理整頓は女子に向いている」

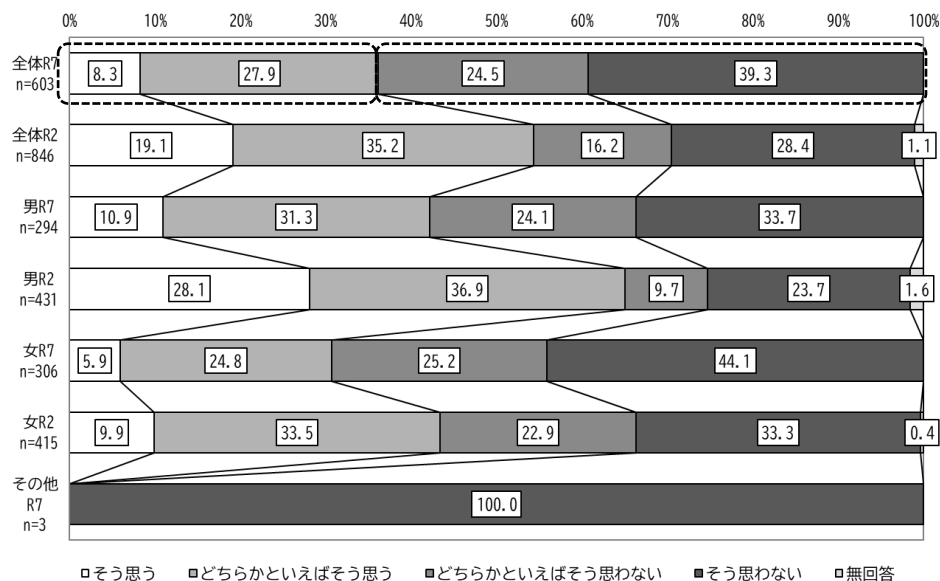
教室のそうじや整理整頓は女子に向いていると思う生徒は、約4割。



・『思う』（「そう思う」「どちらかといえばそう思う」）割合は38.3%、『思わない』（「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」）割合は61.7%となっています。『思う』割合は、前回調査より男女ともに減少（全体：41.3%→38.3%、男子：40.1%→39.5%、女子：42.4%→37.5%）しています。

⑦ 「女子は音楽が得意である」

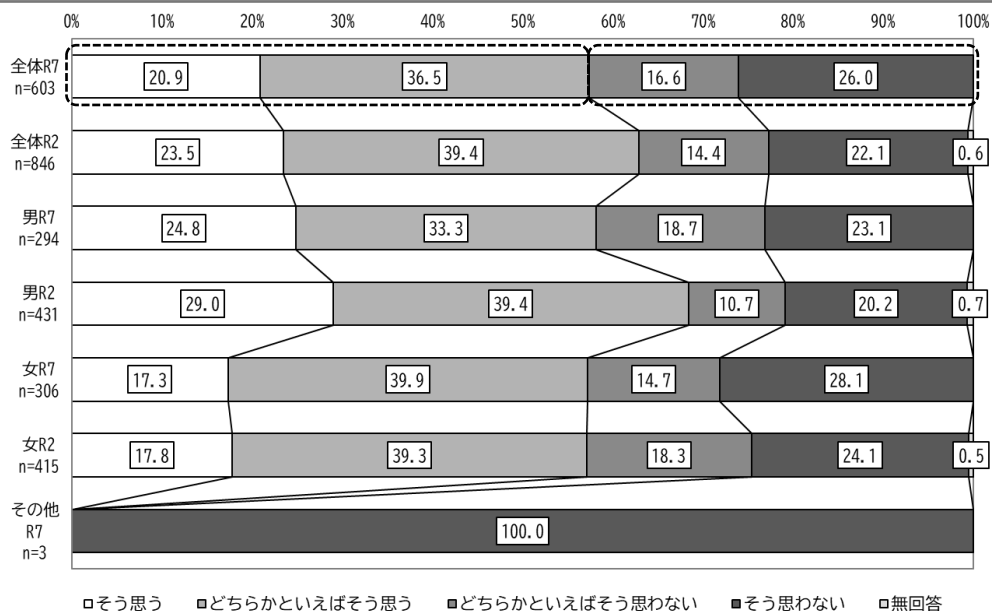
女子は音楽が得意であると思う生徒は、約4割。



・『思う』（「そう思う」「どちらかといえばそう思う」）割合は36.2%、『思わない』（「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」）割合は63.8%となっています。『思う』割合は、前回調査より男女ともに減少（全体：54.3%→36.2%、男子：65.0%→42.2%、女子：43.4%→30.7%）しています。

⑧ 「男子は運動が得意である」

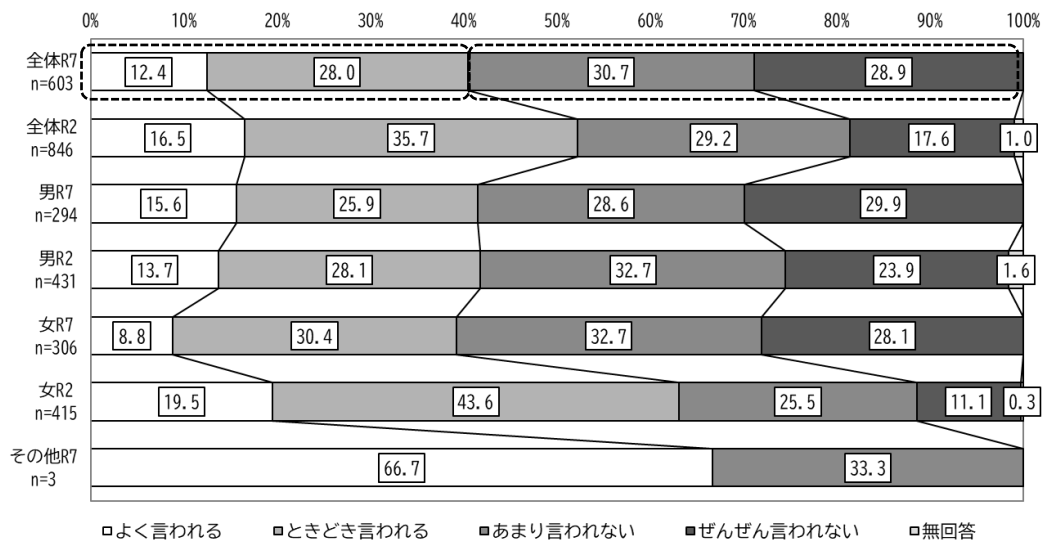
男子は運動が得意であると思う生徒は、約6割。



・『思う』（「そう思う」「どちらかといえばそう思う」）割合は57.4%、『思わない』（「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」）割合は42.6%となっています。『思う』割合は、前回調査より全体（62.9%→57.4%）と男子（68.4%→58.1%）は減少し、女子（57.1%→57.2%）は増加しています。

問2 あなたはおとなの人に「男だから〇〇しなさい」や「女だから〇〇しなさい」と言われたことがあるか。

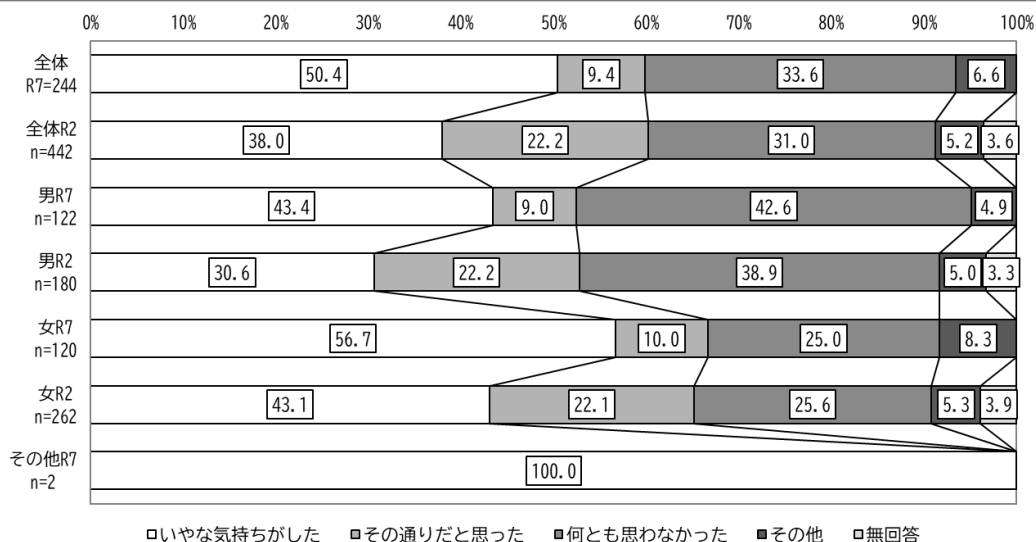
おとなの人に言われたことがある生徒は、4割以上。



・『言われる』（「よく言われる」「ときどき言われる」）割合は40.4%、『言われない』（「あまり言われない」「ぜんぜん言われない」）割合は59.6%となっています。『言われる』割合は、前回調査より男女ともに減少（全体：52.2%→40.4%、男子：41.8%→41.5%、女子：63.1%→39.2%）しています。

問3 問2で「よく言われる」または「ときどき言われる」と答えた人。あなたはその時どんな気持ちでしたか。

いやな気持ちでした生徒は、5割以上。



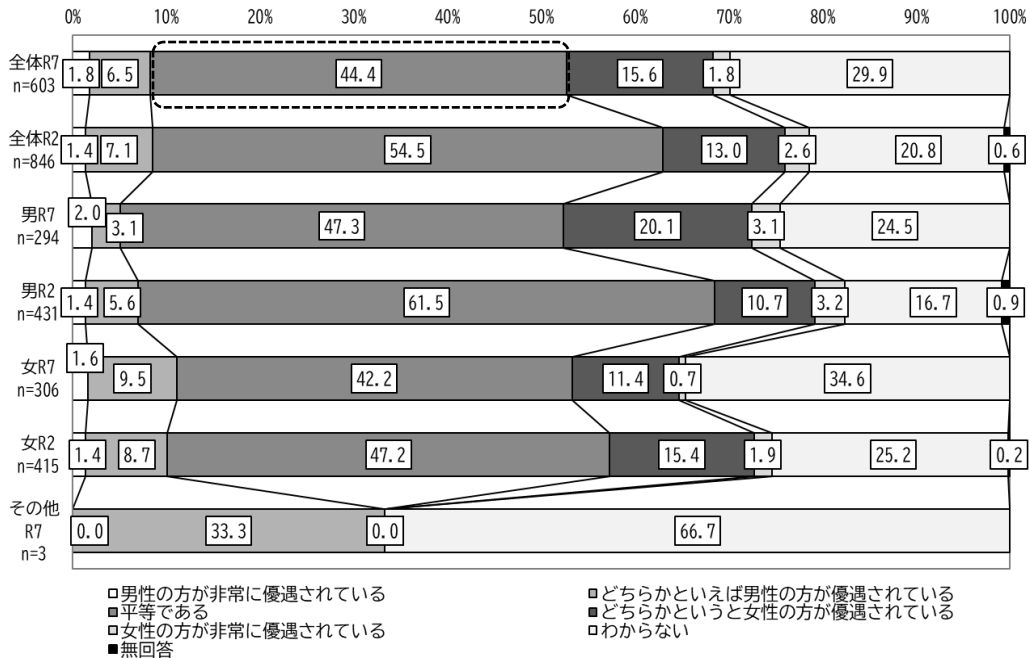
・「いやな気持ちでした」割合が50.4%、「何とも思わなかった」割合が33.6%となっています。「その通りだと思った」割合は、前回調査より男女ともに減少（全体：22.2%→9.4%、男子：22.2%→9.0%、女子：22.1%→10.0%）しています。

その他(男子)：「めんどくさい(3票)」「うるさい」「それが正しい」「男女差別をしすぎ」「僕の勝手でしょと思った」  
 その他(女子)：「めんどくさい(2票)」「慣れた」「疑問」「タイミングによっては嫌」「男女の考え方について世代の違いを感じた」「女だからといって何かを言われるのは嫌だ」「だるい」「二つの性別にこだわる必要がある?」「ムカついた」

問4 あなたは現在、男女の地位は平等になっていると思うか。

① 「家庭生活の場で」

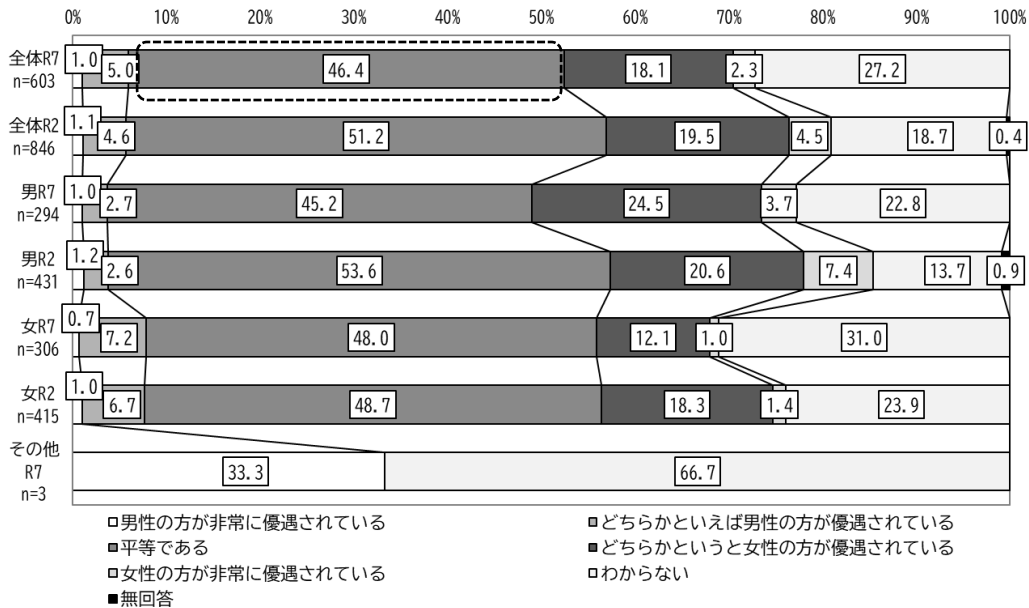
平等だと思う生徒は、4割以上。



- ・「平等である」が44.4%、ついで「わからない」が29.9%となっています。
- ・「平等である」と思う割合は、前回調査より男女ともに減少（全体：54.5%→44.4%、男子：61.5%→47.3%、女子：47.2%→42.2%）しています。

② 「学校教育の場で」

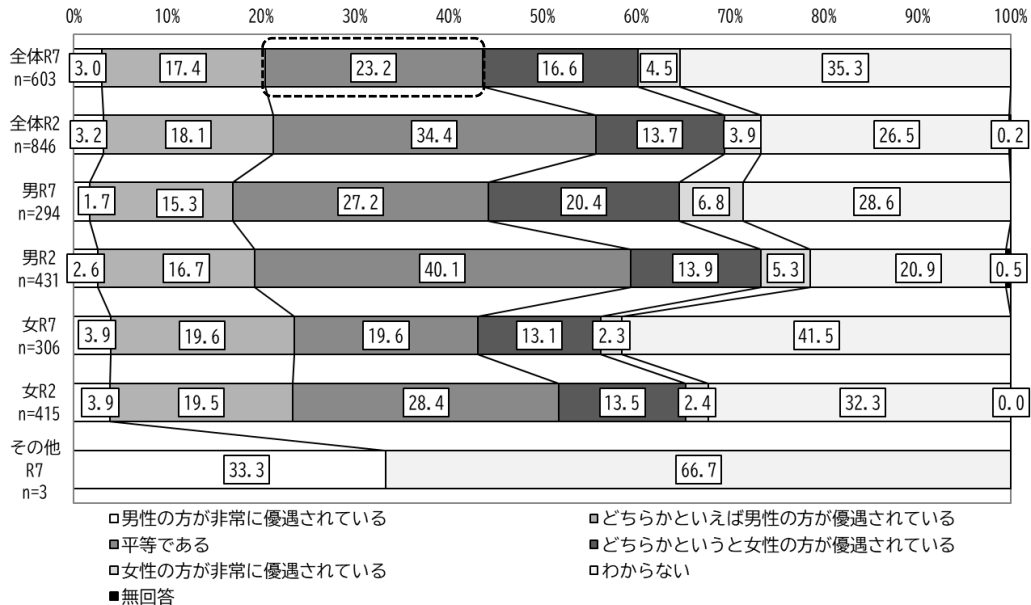
平等だと思う生徒は、約5割。



- ・「平等である」が46.4%、ついで「わからない」が27.2%となっています。
- ・「平等である」と思う割合は、前回調査より男女ともに減少（全体：51.2%→46.4%、男子：53.6%→45.2%、女子：48.7%→48.0%）しています。

③ 「社会全体で」

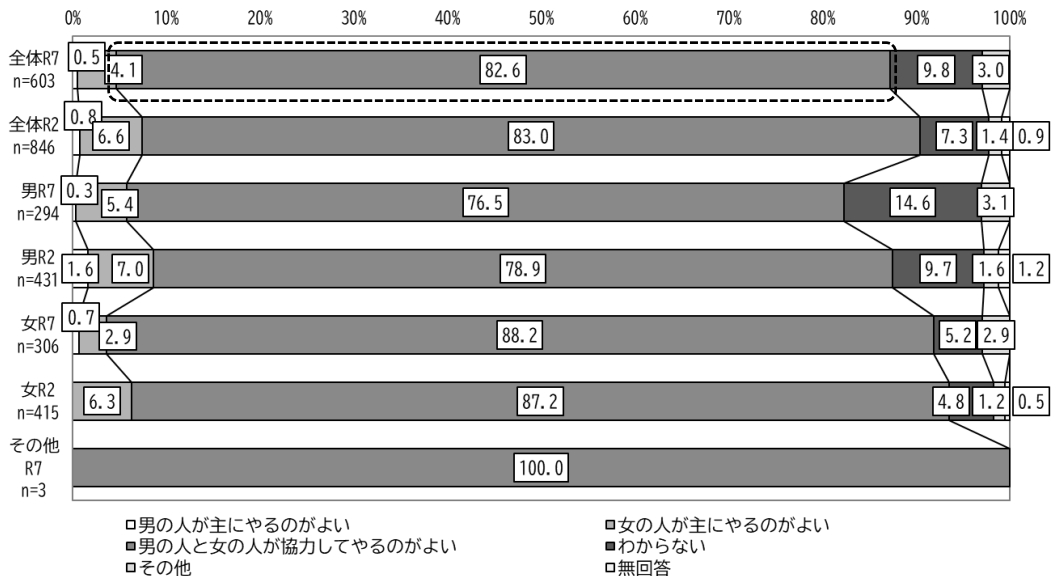
平等だと思う生徒は、2割以上。



・「わからない」が35.3%、ついで「平等である」が23.2%となっています。「平等である」という割合は、前回調査より男女ともに減少（全体：34.4%→23.2%、男子：40.1%→27.2%、女子：28.4%→19.6%）しています。

問5 あなたは家の中で、食事のしたくやそうじ、洗濯のような家事は、誰がやるのが一番よいと思うか。

家事は「男の人と女の人が協力してやるのがよい」と思う生徒は、8割以上。

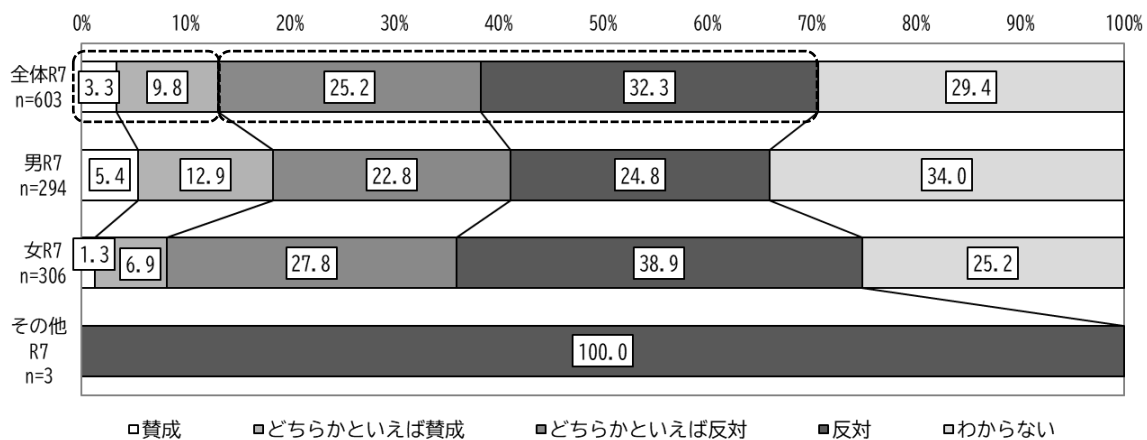


・「男の人と女の人が協力してやるのがよい」が82.6%、「わからない」が9.8%となっています。  
 ・「男の人と女の人が協力してやるのがよい」と思う割合は、前回調査より全体（83.0%→82.6%）と男子は減少（78.9%→76.5%）し、女子は増加（女：87.2%→88.2%）しています。

その他(男子):「みんなで」「男女関係なく協力する」「助け合いで気が付いたらやればよい」「その場その場で決める」「どちらでもいい」「お母さん」「女子がやる。少しだけ男子も」「性別に合わせないでお互いの状況に合わせてやる。と言っても面倒くさいで押し付けてはいけない」  
 その他(女子):「やるのが得意な人(2票)」「ママ」「できる人がやるのが良い」「自分の物は自分でやる」「仕事をしていない方」「暇な人」

問6 あなたは「男（夫）は外で働き、女（妻）は家庭を守るべき」という考え方をどう思うか。

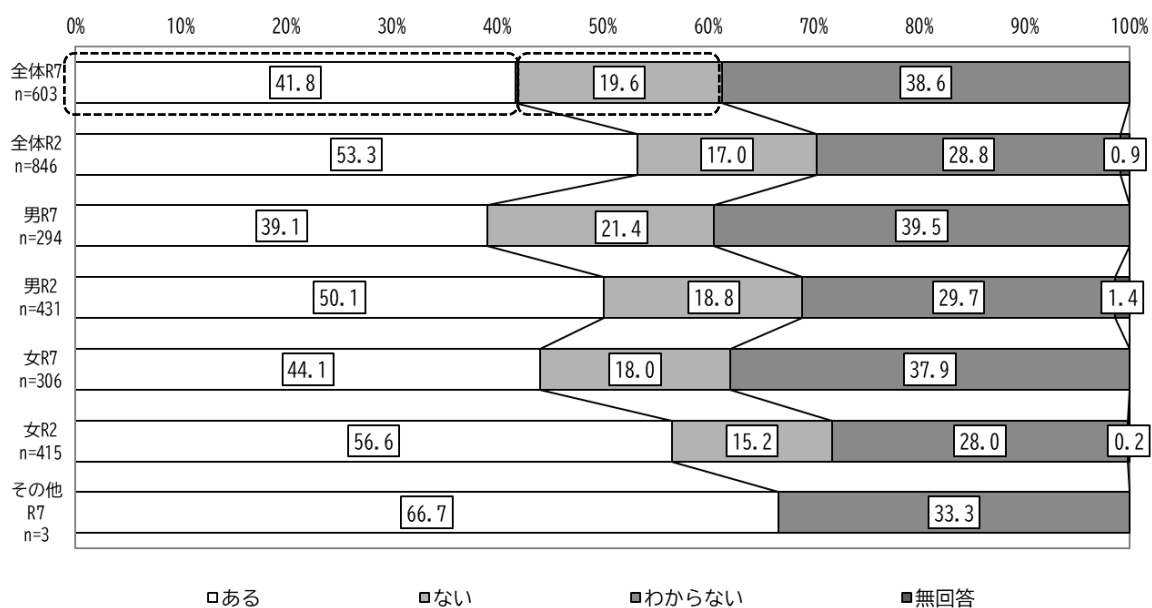
「男（夫）は外で働き、女（妻）は家庭を守るべき」という考え方に『反対』だと思う生徒は、約6割。



- ・『賛成』（「賛成」「どちらかといえば賛成」）が13.1%、『反対』（「どちらかといえば反対」「反対」）が57.5%となっています。『賛成』の割合は、女子（8.2%）より男子（18.3%）が高くなっています。

問7 あなたには、将来やりたい仕事があるか。

将来やりたい仕事がある生徒は、4割以上。



- ・将来やりたい仕事がある「ある」人は41.8%、「わからない」人は38.6%となっています。
- ・将来やりたい仕事がある割合は、前回調査より男女ともに減少（全体：53.3%→41.8%、男子：50.1%→39.1%、女子：56.6%→44.1%）しています。

問8 問7であると回答した人。どんな仕事をやりたいか。

将来やりたい仕事について、男子は「学校の先生」、女子は「保育士」が1位。

○将来やりたい仕事（中学生男子）

| 順位/<br>調査年 | R7                                      | R2                     | H27           |
|------------|---|------------------------|---------------|
| 1          | 学校の先生                                   | サッカー選手                 | 公務員           |
| 2          | スポーツ関係                                  | 野球選手                   | スポーツ関係        |
| 3          | 公務員                                     | 学校の先生                  | 警察官           |
| 4          | 野球選手                                    | スポーツ関係<br>公務員<br>医者    | 消防士<br>プロ野球選手 |
| 5          | ゲームクリエイター<br>サッカー選手<br>医療系<br>建築<br>料理人 | 大工<br>整備士<br>ゲームクリエイター | ゲームクリエイター     |

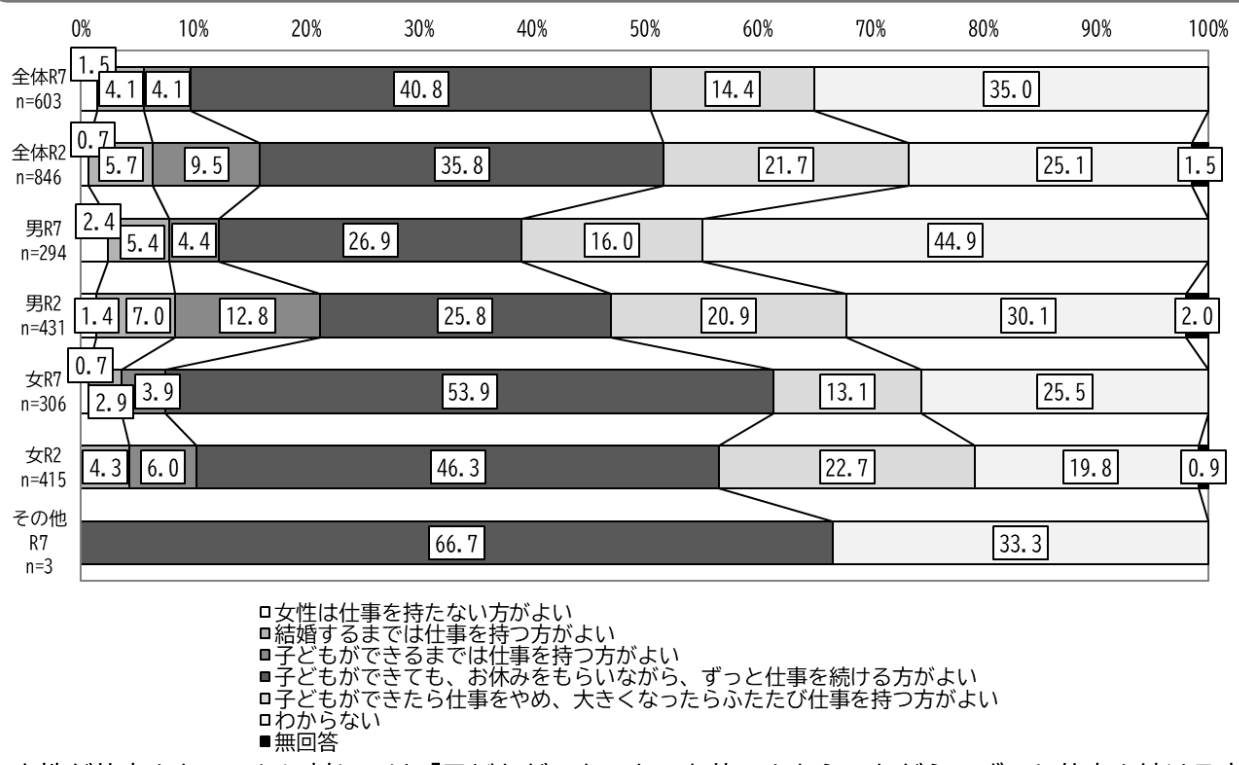
○将来やりたい仕事（中学生女子）

| 順位/<br>調査年 | R7             | R2       | H27            |
|------------|----------------|----------|----------------|
| 1          | 保育士            | 看護師      | 保育士            |
| 2          | 看護師            | 保育士      | 看護師            |
| 3          | 学校の先生          | 学校の先生    | 美容師            |
| 4          | 美容師            | 薬剤師      | 薬剤師            |
| 5          | イラストレーター<br>医者 | イラストレーター | 学校の先生<br>パティシエ |

- ・男子の将来やりたい仕事は、「学校の先生」、「スポーツ関係」、「公務員」となっています。
- ・過去の調査と比較して、学校の先生（前回3位）といった子供に関わる仕事につきたいという声が多くなっています。また、スポーツ関係（前回4位、前々回2位）や公務員（前回4位、前々回1位）といった声が今回調査でも多くなっています。
- ・女子の将来やりたい仕事は、「保育士」、「看護師」、「学校の先生」となっています。
- ・過去の調査と比較して、保育士（前回2位、前々回1位）や学校の先生（前回3位、前々回5位）といった子供に関わる仕事や看護師（前回1位、前々回2位）等の医療関係の仕事につきたいという声が今回調査でも多くなっています。
- ・その他の性別を選択した人は、「精神科医」「動物保護」「小児科医」などの声がありました。

問9 あなたは女性が仕事をもつことについてどう思うか。

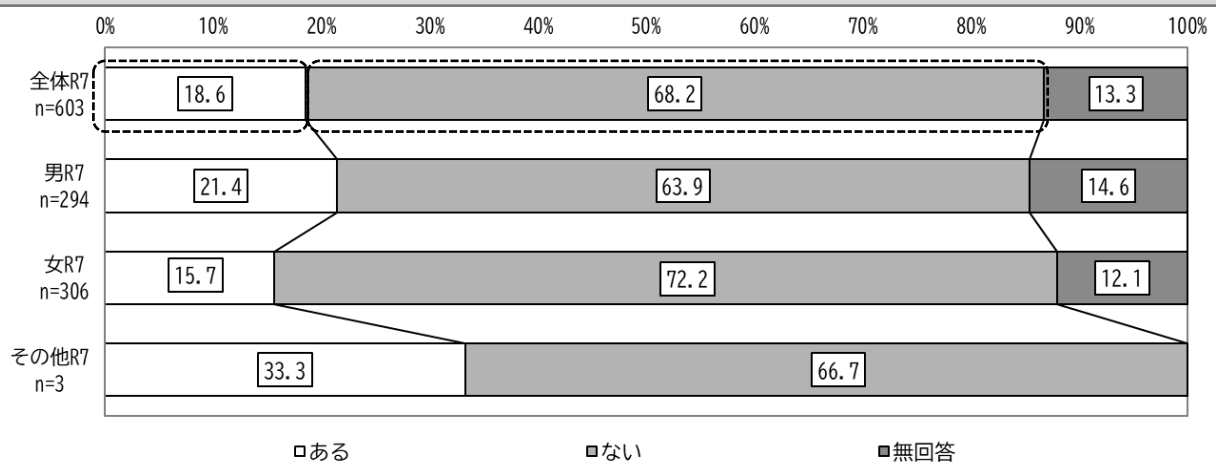
子どもができて、お休みをもらいながら、ずっと仕事を続ける方がよいと思う生徒は、4割以上。



- ・女性が仕事をもつことに対しては「子どもができて、お休みをもらいながら、ずっと仕事を続ける方がよい」人は40.8%、「わからない」人は35.0%となっています。
- ・ずっと仕事を続ける方がよいと思う割合は、前回調査より男女ともに増加（全体：35.8%→40.8%、男子：25.8%→26.9%、女子：46.3%→53.9%）しています。

問10 あなたはこれまで怖い思いをしたことがあるか。（誰かに家や学校の周りで付きまとわれる、体を触られる、いやなことをされるなど）

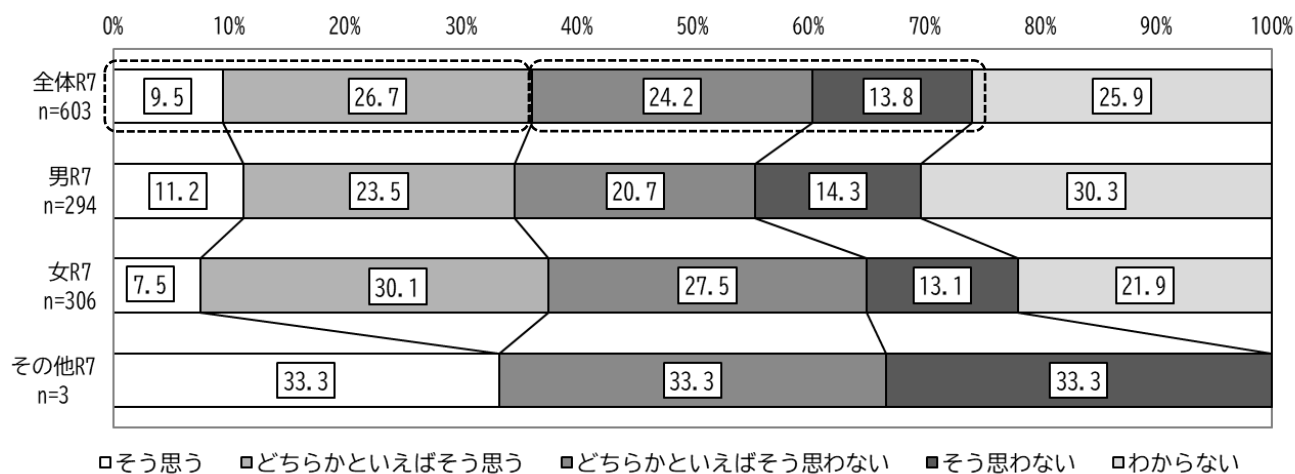
怖い思いをしたことがある生徒は、約2割。



- ・怖い思いをしたことが「ない」人は68.2%、「ある」人は18.6%となっています。
- ・怖い思いをしたことが「ある」割合は、女子（15.7%）より男子（21.4%）が高くなっています。

問11 あなたはLGBTQ（性的マイノリティ）の人権が尊重され、差別を受けることのない社会になっていると思うか。

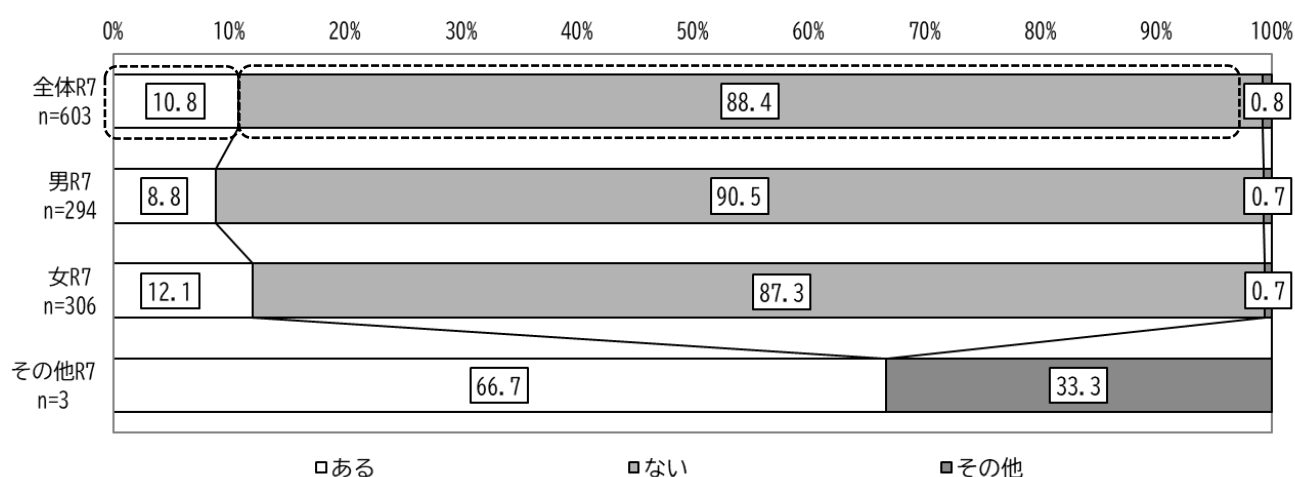
LGBTQの人権が尊重され、差別を受けることのない社会になっていると思う生徒は、約4割。



- ・LGBTQの人権が尊重され、差別を受けることのない社会になっていると思う（「そう思う」「どちらかといえばそう思う」）割合は36.2%、思わない（「どちらかといえばそう思わない」「思わない」）割合は38.0%となっています。
- ・そう思う割合は、男子（34.7%）より女子（37.6%）が高くなっています。

問12 あなたは、自分自身の性について悩んだことがあるか。（現在悩んでいる人を含む）

自分自身の性について悩んだことがある生徒は、1割以上。

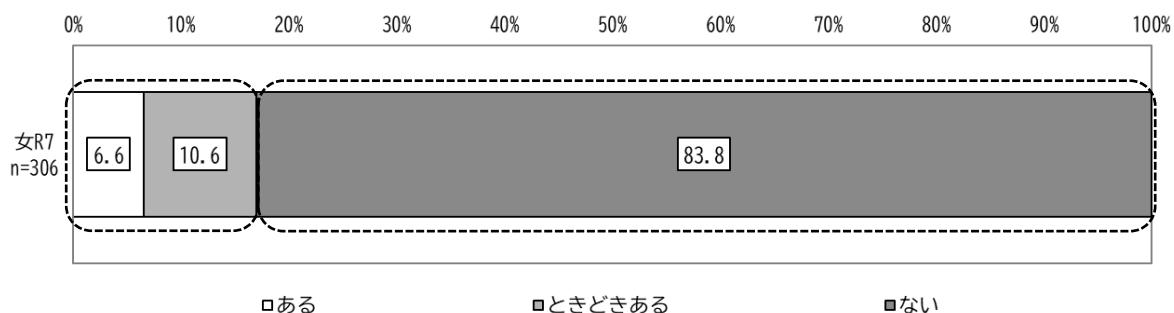


- ・自分自身の性について悩んだことが「ある」割合は10.8%、「ない」割合は88.4%となっています。
- ・悩んだことがある割合は、男子（8.8%）より女子（12.1%）が高くなっています。

その他(男子):「わからない(2票)」  
 その他(女子):「わからない(2票)」  
 その他(性別その他):「少し」

問13 【女子生徒限定】家庭の事情などで生理用品の用意に困ったことがあるか。

家庭の事情などで生理用品の用意に困ったことがある生徒は、約2割。

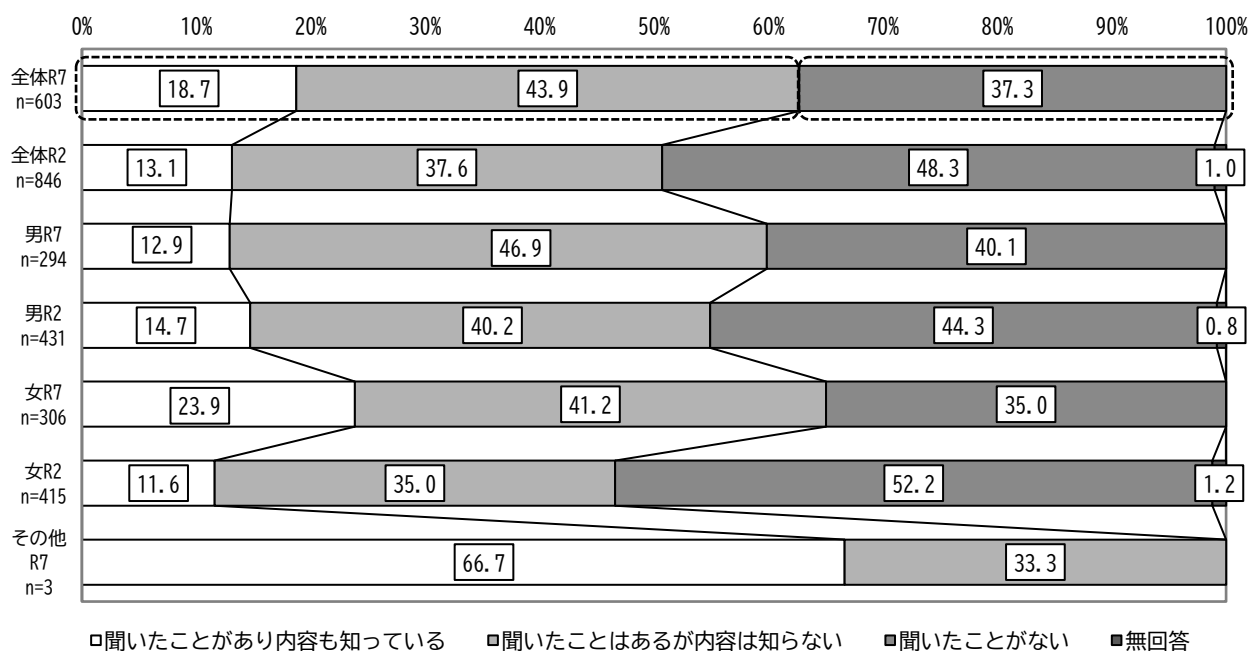


・家庭の事情などで生理用品の用意に困ったことがある（「ある」「ときどきある」）割合は、17.2%となっています。

問14 用語の認知度－次の言葉を聞いたことがあるか。

① 「男女共同参画社会」

聞いたことがある生徒は、6割以上。

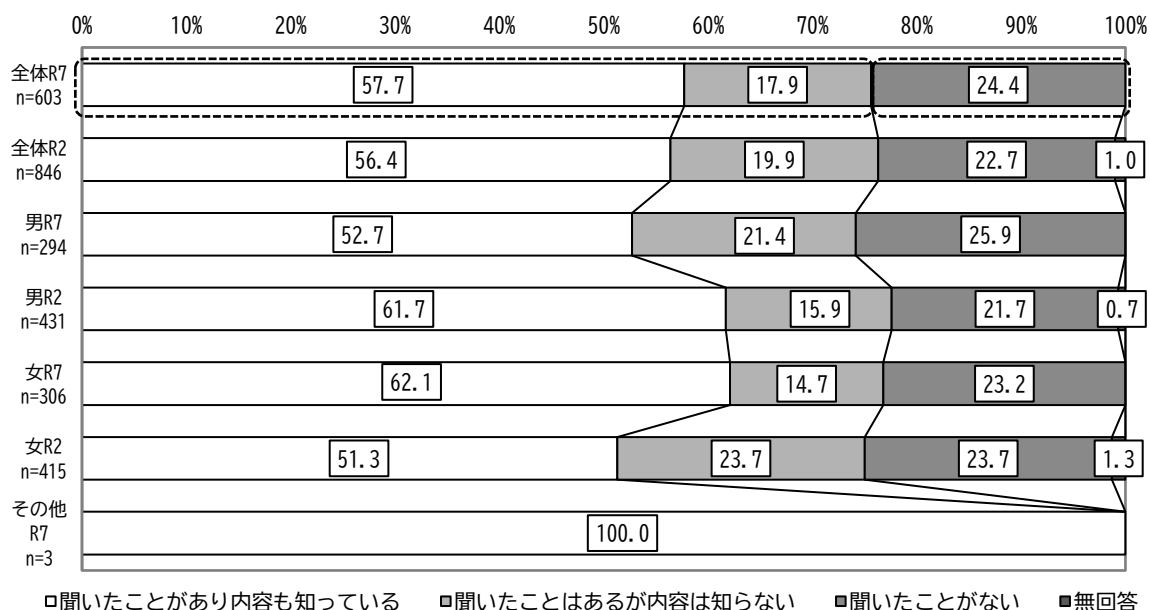


・『言葉を聞いたことがある』（「聞いたことがあり内容も知っている」「聞いたことはあるが内容は知らない」）割合は62.6%、一方で「聞いたことがない」割合は37.3%となっています。

・『言葉を聞いたことがある』割合は、前回調査よりも男女ともに増加（全体：50.7%→62.6%、男子：54.9%→59.8%、女子：46.6%→65.1%）しています。

## ② 「DV（ドメスティック・バイオレンス）」

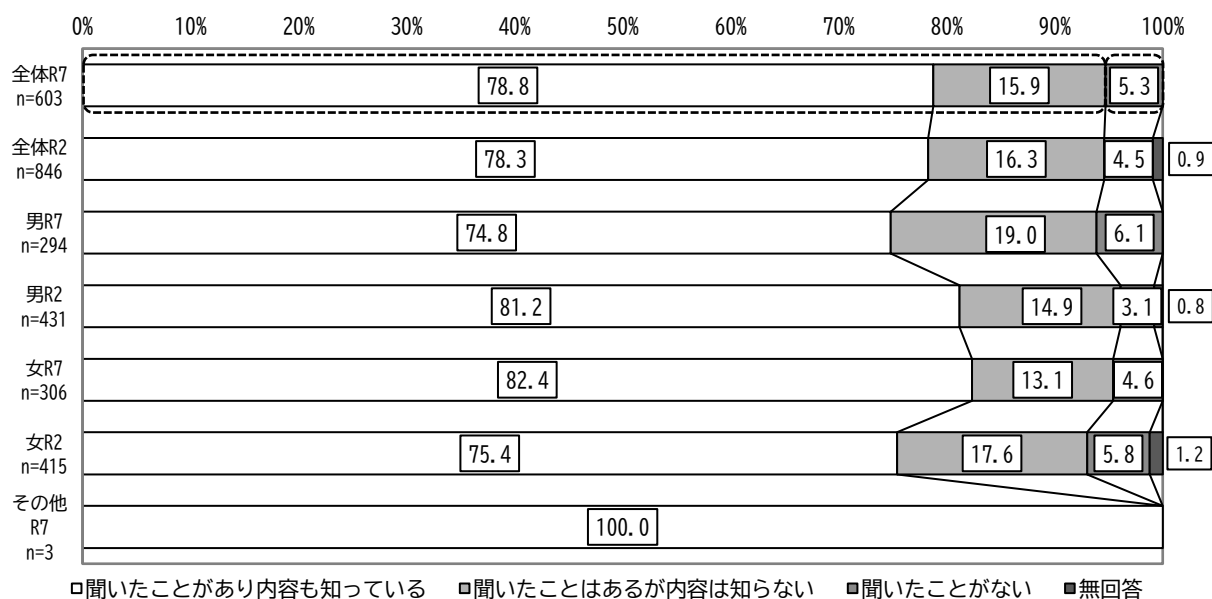
聞いたことがある生徒は、約8割。



- ・『言葉を聞いたことがある』（「聞いたことがあります内容も知っている」「聞いたことはあるが内容は知らない」）割合は75.6%、一方で「聞いたことがない」割合は24.4%となっています。
- ・『言葉を聞いたことがある』割合は、前回調査よりも全体（76.3%→75.6%）と男子（77.6%→74.1%）は減少し、女子は増加（75.0%→76.8%）しています。

## ③ 「セクシュアル・ハラスメント（セクハラ）」

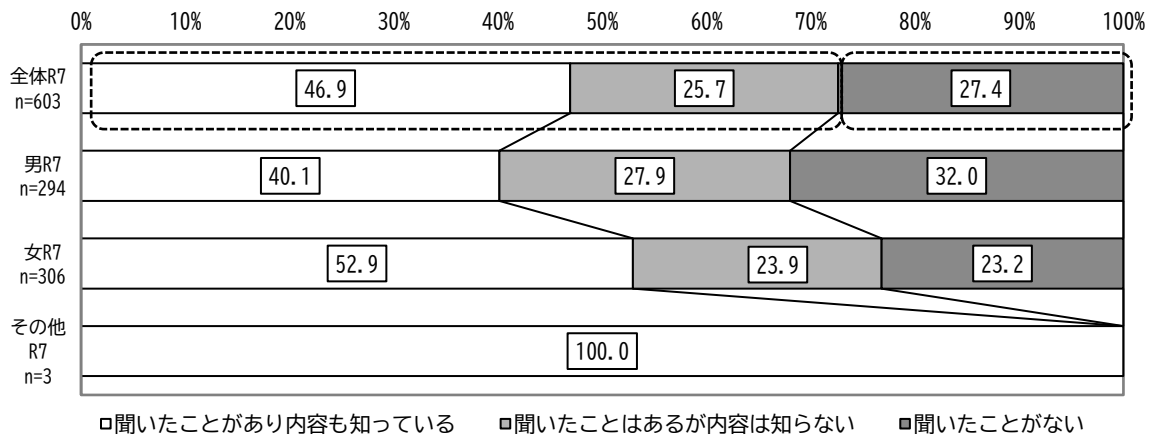
聞いたことがある生徒は、9割以上。



- ・『言葉を聞いたことがある』（「聞いたことがあります内容も知っている」「聞いたことはあるが内容は知らない」）割合は94.7%、一方で「聞いたことがない」割合は5.3%となっています。
- ・『言葉を聞いたことがある』割合は、前回調査よりも男子は減少（96.1%→93.8%）し、全体（94.6%→94.7%）と女子（93.0%→95.5%）は増加しています。

#### ④ 「LGBTQ (性的マイノリティ)」

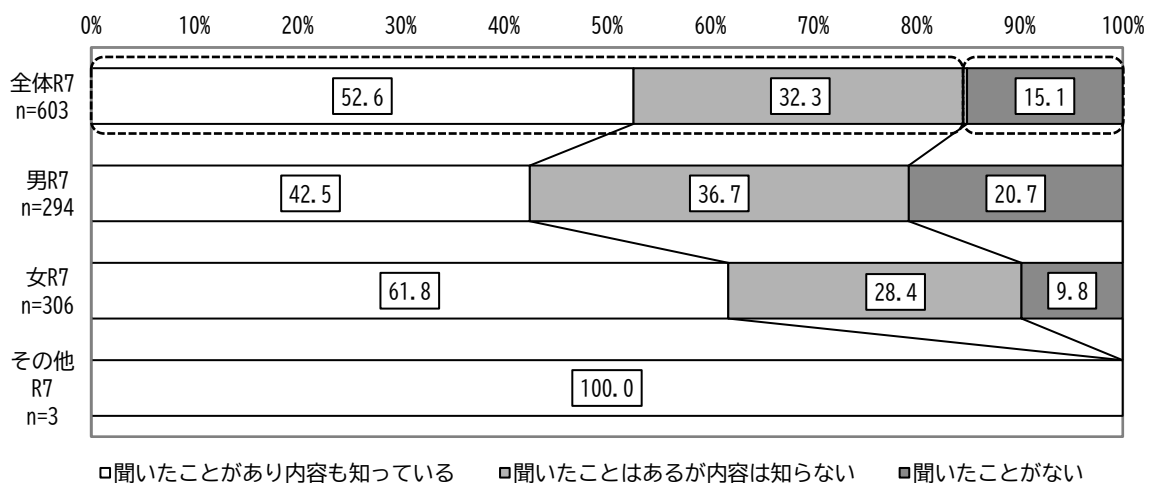
聞いたことがある生徒は、7割以上。



- ・『言葉を聞いたことがある』（「聞いたことがあり内容も知っている」「聞いたことはあるが内容は知らない」）割合は72.6%、一方で「聞いたことがない」割合は27.4%となっています。
- ・『言葉を聞いたことがある』割合は、男子（68.0%）より女子（76.8%）が高くなっています。

#### ⑤ 「ジェンダー (文化・社会的につくられた性差)」

聞いたことがある生徒は、8割以上。



- ・『言葉を聞いたことがある』（「聞いたことがあり内容も知っている」「聞いたことはあるが内容は知らない」）割合は84.9%、一方で「聞いたことがない」割合は15.1%となっています。
- ・『言葉を聞いたことがある』割合は、男子（79.2%）より女子（90.2%）が高くなっています。

令和7年度筑西市男女共同参画に関する小中生意識調査  
結果報告書

令和8年3月

筑西市 市民協働課  
〒308-0031  
茨城県筑西市丙372番地 アルテリオ2階  
電話：0296-23-1600  
FAX：0296-23-1602